



# FOMA® N2502 HIGH-SPEED

ISSUE DATE:

'08.3

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書（日本語／English）  
～接続ガイド～

目次／注意事項

ご使用前の確認

セットアップ

付録

Contents/Precautions

Before Using the FOMA Terminal

Setting Up

Appendix

# ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「FOMA N2502 HIGH-SPEED」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FOMA N2502 HIGH-SPEEDはおお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

## FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナランプが緑色または橙色に点灯されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通信を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式ではすべての通信について秘匿処理をしていますので、第三者が受信機で傍受したとしても、意味不明のデータとなります。
- FOMA 端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なる内容となって受信される場合があります。
- FOMA 端末の誤動作、不具合、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- このFOMA 端末は、FOMA プラスエリアおよびFOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA 端末は、ドコモの提供するFOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- 本FOMA 端末は、i モード機能（i モードメール、公式サイトへの接続、i アプリなど）には対応していません。

## はじめてFOMA 端末をお使いになる方へ

本FOMA 端末が「はじめてのFOMA 端末」という方は、まず、本書を次の順序でお読みください。FOMA 端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひとつおご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう → P.6
2. FOMA 端末の各部の名称と機能を確認しましょう → P.14
3. FOMA 端末をパソコンにセットしましょう → P.19
4. お使いのパソコンにFOMA 端末を認識させましょう → P.26
5. FOMA 端末で通信するための設定をしましょう  
→ 「FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書」 P.46

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

・「取扱説明書（PDF ファイル）」ダウンロード

<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>

※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

# 本書の見かた／引きかた

## 記載内容について

FOMA N2502 HIGH-SPEEDの取扱説明書は、『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～』（本書）と付属のCD-ROMに収録されている『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』で構成されています。

### ■『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～』（本書）

パソコンへの接続方法、困ったときの対処方法、N2502 HIGH-SPEEDの仕様など、次の内容を記載しています。参照先が『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』となっている場合は、付属のCD-ROMに収録されている『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』をご覧ください。

- 目次、注意事項
- ご使用前の確認
- セットアップ
- 付録

### ■『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』（付属のCD-ROMに収録）

上記『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～』の内容に加えて、FOMA PC設定ソフトによる通信設定方法など、次の内容を記載しています。ご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。

- ユーティリティ
- その他の専用アプリケーション（FOMA PC設定ソフトによる通信設定方法など）
- PDAでの利用

## 本書の引きかたについて

本書では次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探することができます。

索引から ➡ P.45

あらかじめ機能名・サービス名がわかっている場合はここから探します。

表紙インデックスから ➡ 表紙

表紙のインデックスを使用して、章の最初のページの目次から探します。

目次から ➡ P.4

機能ごとに分類された目次から探します。

特徴から ➡ P.5

特徴的な機能を利用したい場合はここから探します。

次ページで  
詳しく説明  
しています。

- この『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書～接続ガイド～』の本文中においては、『FOMA N2502 HIGH-SPEED』を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- お使いの環境によっては、操作手順や画面が一部異なる場合があります。
- 本書では、パソコンのOSにより動作や画面がほぼ同じ場合は、Windows XPの画面例のみを掲載している箇所があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

# 本書の見かた／引きかた（つづき）

索引から

➔ P.45

機能名称やサービス名称などを次の例のように探します。

カード設定.....41	<b>ま</b>	インストール.....91
各部の名称と機能.....14	モードランプ.....15	動作環境.....90
故障かな?と思ったら.....134	<b>や</b>	mopera U.....5
<b>さ</b>	<b>ユーティリティ (パソコン用).....32</b>	mopera U かんたんスタート.....90
自局電話番号表示.....38, 113	インストール.....32	動作環境.....91
仕様.....140	起動.....37	PDAでの利用.....93
省電力モード.....43, 112	終了.....37	アンインストール.....116
セキュリティ設定.....41	動作環境.....32	インストール.....95
接続先 (APN) の設定.....75	ヘルプ.....38	ダイヤルアップ接続.....115
<b>た</b>	メイン画面.....37	ダイヤルアップ設定.....101
ダイヤルアップ接続.....86	<b>ユーティリティ (PDA用)</b>	着信動作設定.....108
ダイヤルアップネットワークの	各種設定画面.....100	動作環境.....95
設定.....78		発信動作設定.....105
		PDAと接続.....91

表紙インデックスから

➔ 表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に、設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

## FOMA® N2502 HIGH-SPEED

ISSUE DATE: '08.3

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

目次/注意事項

ご使用前の確認

セットアップ

**ユーティリティ**

その他の専用アプリケーション

PDAでの利用

付録

P.32  
「FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティについて」の説明ページへ

## ユーティリティ

■ ユーティリティでできること

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティについて..... 32

■ インストールする

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティをインストールする..... 32

■ 起動 / 終了する

メイン画面の見かた..... 37

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを起動 / 終了する..... 37

■ ご利用の前に

操作を忘れてしまったとき..... ヘルプ 38

自分の電話番号を確認する..... 自局電話番号表示 38

ユーティリティのバージョンを確認する..... 38

ファームウェアのバージョンを確認する..... 38

■ 各種設定をする

※本文中のページとは内容が異なります。

本書ではFOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

タイトルを記載しています。

各手順を操作する際のポイントとなる画面を表しています。お使いのパソコン・PDAの画面と照らし合わせてご覧ください。数値や設定、任意に入力する文字などはすべて一例です。

各機能を利用するときに必要な内容、注意事項や参考になる内容を記載しています。

**FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティについて**

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティでは次の機能が利用できます。

- FOMA端末の初期設定
- 電波状態の確認や、FOMAカードの状態確認
- 各種設定
- 発信者番号通知、パケット通話拒否設定、PIN1コード設定など

**動作環境を確認する**

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	OS (TYPE B) または PCカード (TYPE B) に対応したカードスロットを持つもの
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack 3 Windows 2000 Service Pack 4
メモリ	Windows Vista：最低 1GB Windows XP：最低 512MB以上 Windows 2000：推奨 256MB以上
ハードディスク	2GB以上の空き容量

**インストールする**

- あらかじめFOMA端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator 権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンの Administrator 権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクログラフ社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、現在使用中または実行しているプログラムを終了してください。
- インストール手順や接続手順は、OSにより異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明を必ずご確認ください。

**Windows Vista の場合**

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可 (A)」をクリックしてください。

**おしらせ**

- 必ずメモリおよびハードディスクの空き容量を確認し、十分な容量を確保することを確認してください。
- 動作環境によっては、ご使用にならない場合があります。また、上記動作環境以外での使用によるお困りやお問い合わせが御座います。当社では責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 一部のOSであっても、アップグレードしたOSでの動作が保証されません。

**インデックスから章ごとに検索できます。**

**各手順での操作を表しています。**

**ページ番号**

**次のページに説明がつづくことを示します。**

このページに 32

※ 上記のページはサンプルです。本文中のページとは内容、ページ数が異なります。  
※ 本書に記載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

# 目次

本書の見かた／引きかた	1
目次	4
FOMA N2502 HIGH-SPEEDの特徴	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	6
取り扱い上の注意について	9
知的財産権について	10
本体付属品について	11

## ご使用前の確認

P.13

- 各部の名称と機能
- FOMAカードについて
- FOMA端末から利用できる通信について
- FOMA端末をパソコンに接続する
- FOMA端末をPDAに接続する

## セットアップ

P.23

- セットアップについて
- 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする
- PDAで通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

## 付録

P.35

- CD-ROMの内容について
- 故障かな？と思ったら、まずチェック！
- こんな表示が出たら
- 用語解説
- 保証とアフターサービス
- 輸出管理規制について
- 主な仕様
- 索引

# FOMA N2502 HIGH-SPEEDの特徴

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

## ■ FOMAハイスピードエリア対応

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps／送信最大384kbps（ベストエフォート方式）の速度でデータ通信を行うことができます。

- ※ 最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。
- ※ 実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続した場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」（有料）をご用意しております。詳しくはmopera Uホームページをご覧ください。  
<http://www.mopera.net/>
- ※ FOMAハイスピードエリア内でのパケット通信においては、送受信データ量も多くなることが予想されます。高額利用とならないようご注意ください。

## ■ FOMAカードを差し替えて利用可能

FOMAカードを差し替えることにより、お客様の用途に合わせて、複数のFOMA端末を使い分けることができます。

- 月額基本使用料および通信料などはFOMA端末に取り付けられたFOMAカード契約番号に課金されます。

## ■ コンパクトサイズ




PDA（一部機種を除く）でも利用することができます。

## ■ テレビ電話通信対応





テレビ電話対応ソフト「ドコモテレビ電話ソフト」を利用して、パソコンからテレビ電話で通話ができます。

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 <b>禁止</b>	禁止（してはいけないこと）を示します。
 <b>分解禁止</b>	分解してはいけないことを示す記号です。
 <b>水濡れ禁止</b>	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしてはいけないことを示す記号です。
 <b>指示</b>	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

- 「安全上のご注意」は下記の4項目に分けて説明しています。

1. FOMA 端末、FOMA カードの取り扱いについて（共通）…………… 6
2. FOMA 端末の取り扱いについて…………… 7
3. FOMA カードの取り扱いについて…………… 8
4. 医用電気機器近くでの取り扱いについて …… 8

## 1. FOMA 端末、FOMA カードの取り扱いについて（共通）

### 危険



火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。  
機器の変形、故障、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。



分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。  
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。



濡らさないでください。  
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

### 警告



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、FOMA 端末や FOMA カードを入れないでください。  
FOMA 端末の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。



強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。  
機器の故障、火災の原因となります。



外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。  
ショートによる火災や故障の原因となります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。



## ⚠️ 注意



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがや故障の原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。故障の原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

## 2.FOMA 端末の取り扱いについて

### ⚠️ 警告



エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。



FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末を接続しているパソコンの電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。



屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐにパソコンの電源を切って安全な場所に移動してください。落雷、感電の原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末をPCカードスロットから抜いてください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください。電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

## ⚠️ 注意



アンテナを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが他の人に当たり、けがの原因となります。



アンテナが破損したまま使用しないでください。

肌に触れるとやけどや、けがなどの原因となります。



磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。



自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
正面と背面の金属（銀色）部分	ステンレス	—
背面のネジ	鉄	三価クロムメッキ
アンテナのピン	黄銅	黒ニッケルメッキ



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

### 3.FOMA カードの取り扱いについて



**注意**



指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。手や指を傷つける可能性があります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

### 4. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。



**警告**



指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、パソコンの電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。



指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

## 取り扱い上の注意について

### 共通のお願い

- 水をかけないでください。  
FOMA端末、FOMAカードは防水仕様にはなっていません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。  
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。  
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。  
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- FOMA端末に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

### FOMA 端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。  
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。  
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。  
故障・破損の原因となります。
- 移動するときは、FOMA 端末をパソコンから取り外してください。
- 使用中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

### FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。  
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。  
故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA 端末に取り付けしないでください。  
故障の原因となります。

### 注意

- 改造されたFOMA 端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。  
FOMA 端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技術マーク」がFOMA 端末の銘版シールに表示されています。FOMA 端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

## 知的財産権について

### 著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

### 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

- 「FOMA」 「mopera U」 「mopera」 「FirstPass」 「DoPa」 「sigmarion」 および 「FOMA」 ロゴは NTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCMCIA、PC Cardは、Personal Computer Memory Card International Association (米国) の商標または登録商標です。
- CompactFlashは米国SanDisk Corporationの登録商標です。
- その他本文中に記載されている商品名は、各社の商標または商標登録です。
- 下記の一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

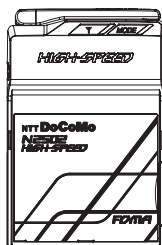
4,901,307 5,490,165 5,056,109  
5,504,773 5,101,501 5,506,865  
5,109,390 5,511,073 5,228,054  
5,535,239 5,267,261 5,544,196  
5,267,262 5,568,483 5,337,338  
5,600,754 5,414,796 5,657,420  
5,416,797 5,659,569 5,710,784  
5,778,338

## Windowsの表記について

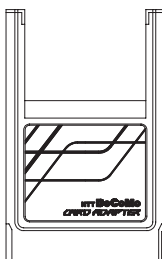
- 本書では各OS (日本語版) を次のように略して表記しています。
  - Windowsは、Microsoft® Windows® operating systemの略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic operating system、Windows Vista® Home Premium operating system、Windows Vista® Business operating system、Windows Vista® Enterprise operating system、Windows Vista® Ultimate operating systemの略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
  - Windows CEは、Microsoft® Windows® CE operating systemの略です。
  - Windows XP、2000のように併記する場合があります。

## 本体付属品について

### ■ FOMA N2502 HIGH-SPEED本体 (保証書含む)

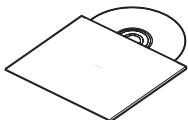


### ■ PCカードアダプタ (試供品)



### ■ FOMA N2502 HIGH-SPEED用 CD-ROM

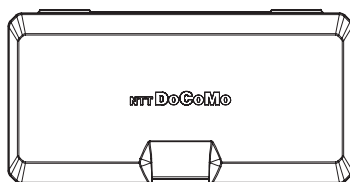
- FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティ (パソコン用、PDA用)
- FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル (パソコン用、PDA用)
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- mopera U かんたんスタート
- FirstPass PCソフト
- ドコモテレビ電話ソフトのご案内
- FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書 (PDF形式)



※ ソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。

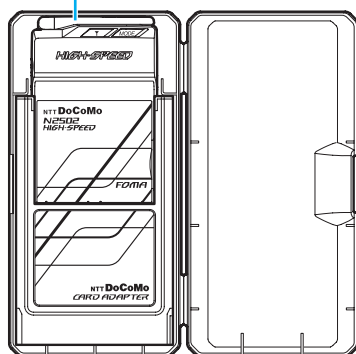
※ 取扱説明書は、CD-ROM内の「Manual」フォルダ内の「N2502\_J\_All.pdf」(日本語版) / 「N2502\_E\_All.pdf」(英語版) をご覧ください。

### ■ FOMA N2502 HIGH-SPEED専用 ケース (試供品)

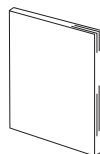


ご使用にならないときや持ち運びのときは、保護のため付属のFOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れてください。

FOMA N2502 HIGH-SPEED本体と専用ケースの上側を合わせて収納します。



### ■ FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書 明書～接続ガイド～ (本書)

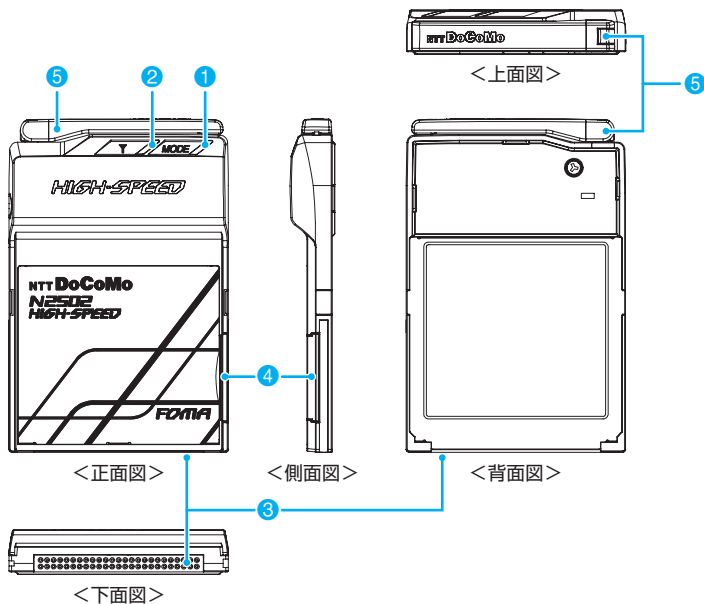




# ご使用前の確認

各部の名称と機能.....	14
FOMAカードについて.....	16
FOMA端末から利用できる通信について.....	17
FOMA端末をパソコンに接続する.....	19
FOMA端末をPDAに接続する.....	21

# 各部の名称と機能

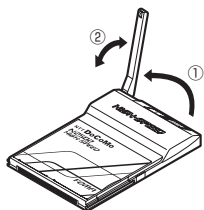


ご使用前の確認

- ① **モードランプ**
  - ・ FOMA 端末の状態などを表示します。→P.15
- ② **アンテナランプ**
  - ・ 電波の状態などを表示します。→P.15
- ③ **コンパクトフラッシュコネクタ**
  - ・ パソコンあるいはPCカードアダプタとの接続端子です。→P.19
- ④ **FOMAカードトレイ**
  - ・ FOMAカードの取り付け、取り外しに使用します。→P.16
- ⑤ **可動アンテナ**
  - ・ よりよい条件で通信するために、立てた状態で使用することをおすすめします。

<通信するときは>

<持ち運ぶときは>





# ランプ表示について

## ① モードランプ

FOMA端末の状態		モードランプ
電源OFF/待ち受け中		消灯
パケット通信	発着信中	緑 (点滅A)
	通信中*	緑 (点灯)
64K データ通信	発着信中	オレンジ (点滅A)
	通信中*	オレンジ (点灯)
テレビ電話通信	発着信中	オレンジ (点滅A)
	通信中*	オレンジ (点灯)
発信規制中		赤 (発信動作時に2秒間点灯)

※：省電力モードに設定している場合、発着信中の点滅動作のみとなり通信中は点灯しません。→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.43

## ② アンテナランプ

FOMA端末の状態			アンテナランプ
電源OFF			消灯
電波状態*	FOMAハイスピードエリア	アンテナ3本	緑 (点灯)
		アンテナ2本	緑 (点滅B)
		アンテナ1本/0本	緑 (点滅C)
	FOMAエリア	アンテナ3本	オレンジ (点灯)
		アンテナ2本	オレンジ (点滅B)
		アンテナ1本/0本	オレンジ (点滅C)
	圏外		赤 (点灯)
PIN1コード/PINロック解除コード入力待ち PIN完全ロック、FOMAカード未挿入、FOMAカードエラー、FOMAカード以外のUIMカードを挿入			赤 (点滅C)

※：省電力モードに設定している場合、電波状態は点灯しません。→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.43

## ■ 点滅のパターン

パターン	光りかた
点滅A	約0.75秒高速点滅/約0.25秒消灯を繰り返す 
点滅B	約2秒点灯/約1秒消灯を繰り返す 
点滅C	約1秒間隔で点灯/消灯を繰り返す 

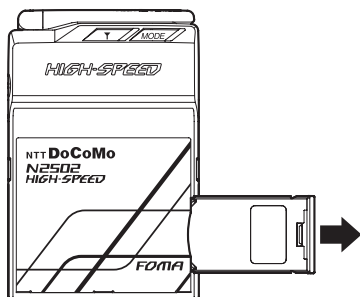
## FOMAカードについて

FOMAカードは、電話番号などお客様の情報が記録されているICカードで、FOMA端末に取り付けないと、データ通信やテレビ電話などを利用できません。FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

## FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

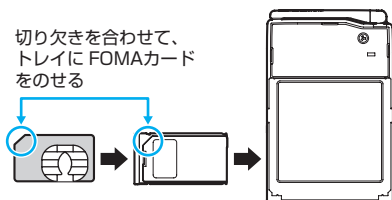
### ● 取り付けかた

#### ① FOMA 端末を正面にして、矢印の方向に FOMA カードトレイを引き出す



#### ② FOMA 端末を裏側にして FOMA カードトレイを取り外し、FOMA カードをのせたトレイを図のような向きで差し込む

切り欠きを合わせて、トレイに FOMA カードをのせる



FOMA カードをのせたトレイを図のような向きで差し込む

#### ③ FOMA カードトレイを奥まで押し込む 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

### ● 取り外しかた

#### ① 「取り付けかた」の操作 1 に従って FOMA カードトレイを引き出し、取り外す

#### ② 取り外した FOMA カードトレイの穴から FOMA カードを押し取り外す



FOMA カードトレイの穴

### おしらせ

- 手に持った状態で、操作手順に従って正しく取り付け／取り外しを行ってください。無理に取り付けようとしていたり、取り外そうとすると、FOMA カードが破損する場合があります。
- FOMA カードの IC 部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- 取り外した FOMA カードや FOMA カードトレイは、なくさないようにご注意ください。

## FOMA カードの暗証番号について

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという 2 つの暗証番号があり、ご契約時は「0000」に設定されています。

PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA 端末の電源を入れるたび、使用者を確認するために入力する 4～8 桁の暗証番号です。

PIN2 コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請 (FirstPass 利用時) を行うときなどに使用する 4～8 桁の暗証番号です。

お客様の FOMA カードが PIN1 コードを照合する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを起動して、PIN1 コードを照合してから利用するか、あらかじめ FOMA カードの設定を、PIN1 コードを照合しない設定 (『FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書』P.41) にしてから利用してください。

### ■ PIN1 コードの変更について

お客様のお好みに、番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。

なお、3 回連続して PIN1 コードの入力を失敗すると自動的にロック (PIN ロック) されますので、設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

- PIN コード入力設定／PIN1 コード変更→『FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書』P.41、42

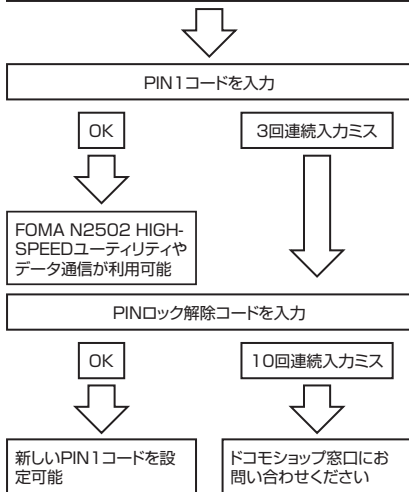
## ■PINロック解除コードについて

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。お客様自身では変更することができません。

なお、PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗するとFOMAカードがロックされますので、PINロック解除コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

- PINロックを解除する→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.42

FOMA端末をパソコンに挿入しFOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティを起動するとPIN1コード入力画面を表示



### おしらせ

- 本FOMA端末では、PIN2コードを変更することができません。お客様のFOMAカードを、他のPIN2コードが変更可能なFOMA端末に差し込んで、PIN2コードの変更を行ってください。PIN2コードの変更方法については、変更に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

## FOMAカードの機能差分について

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色/白色）とは次のように異なります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色/白色）
FirstPass	利用不可	利用可能※

※：本FOMA端末では、FirstPass利用時に必要なユーザ証明書を直接取得することができません。お客様のFOMAカードを他のFirstPass対応FOMA端末に差し込んで、ユーザ証明書の発行申請・ダウンロードなどを行っていただいた後、そのFOMAカードを本FOMA端末に差し込んでから利用することになります。ユーザ証明書の取得方法については、ユーザ証明書の取得に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

## FOMA 端末から利用できる通信について

### パケット通信と64Kデータ通信

#### パケット通信

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps/送信最大384kbps（ベストエフォート方式）の速度でデータ通信を行うことができます。

- 最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。
- 実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
- 付属のCD-ROMに収録されているFOMAバイトカウンタを利用して、パケット通信による送受信バイト数や利用金額の目安を確認することができます。（FOMAバイトカウンタはパソコン専用ソフトです。PDAには対応していません。）
- PDAでデータ通信（パケット）をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応していませんので、ご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外または、FOMAハイスピードエリア内であってもmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続した場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

## 64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて通信料金が課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMA64Kデータ通信に対応した接続先を利用して、最大64kbpsの通信速度でデータを送受信できます。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」も利用できます。

## ご利用にあたっての留意点

### インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、利用するインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただけます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」／「mopera」を利用できます。「mopera U」を利用する場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」を利用する場合は申し込み不要、月額使用料無料です。

### 接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDNの同期64K対応の接続先を利用してください。

- DoPaの接続先には接続できません。

### ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらからお問い合わせください。

## ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証では、FirstPass（ユーザ証明書\*）が必要です。付属のCD-ROMから「FirstPass PCソフト」をインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual（PDF形式）」をご覧ください。ご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

※：本FOMA端末では、FirstPass利用時に必要なユーザ証明書を直接取得することができません。お客様のFOMAカードを他のFirstPass対応FOMA端末に差し込んで、ユーザ証明書の発行申請・ダウンロードなどを行っていただいた後、そのFOMAカードを本FOMA端末に差し込んでから利用することになります。ユーザ証明書の取得方法については、ユーザ証明書の取得に利用するFOMA端末の取扱説明書をご覧ください。

## パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要になります。ただし、条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪い場合は通信できないことがあります。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、アクセスポイントがFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

接続している時間に応じて通信料金が課金されます。ドコモのテレビ電話に対応（「国際標準の3GPP※1で標準化された3G-324M※2」に準拠）した端末どうしで通話ができます。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体のことです。

※2：3G-324Mとは、第3世代携帯テレビ電話の国際規格のことです。

- 相手がドコモのテレビ電話に対応していない場合や、対応していても、圏外もしくは電源を切っている場合には接続できません。
- テレビ電話の通信速度には64K（64kbps）と32K（32kbps）がありますが、本FOMA端末では32Kのテレビ電話は利用できません。
- テレビ電話を利用するには、対応アプリケーションの他にUSB対応WEBカメラ、イヤホン、マイクなどの対応機器（市販品）が必要になります。
- イヤホン、マイクなどの対応機器は、パソコンのイヤホン端子、マイク端子に接続して利用します。

### おしらせ

- テレビ電話の通信料金はデジタル通信料金となります。
- 対応アプリケーション、対応機器の使いかたなど詳しくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフト サポートホームページからダウンロードしてご利用ください。なお、パソコンでのご利用環境など詳細については、ドコモテレビ電話ソフト サポートホームページでご確認ください。

<http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/>

## FOMA 端末をパソコンに接続する

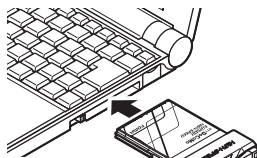
### 接続のしかた

はじめてFOMA 端末をパソコンに接続するときは、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。通信設定ファイル（ドライバ）のインストールについては、「通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」（P.26）をご参照ください。

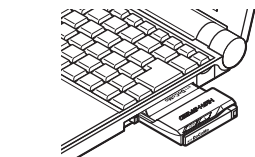
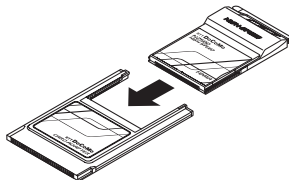
#### 1 パソコンの電源を入れる

#### 2 FOMA 端末のラベル面を上にして、パソコンのCFカードスロット、もしくは付属のPCカードアダプタを取り付けてPCカードスロットへまっすぐ差し込む

##### ■ CFカードスロットに差し込む場合



##### ■ PCカードスロットに差し込む場合



- CFカードスロットやPCカードスロットの位置、挿入方向はパソコンによって異なります。
- CFカードスロットやPCカードスロットの奥までしっかりと差し込んでください。
- パソコンによってはCFカードスロットやPCカードスロットに差し込みづらい場合があります。

### 3 デスクトップ上のタスクトレイのアイコンをクリックする

#### ■ Windows Vistaの場合



#### ■ Windows XPの場合



#### ■ Windows 2000の場合



- 「FOMA N2502 HIGH-SPEED を安全に取り外します」などと表示されていれば、FOMA端末は正しく認識されています。
- しばらくしても表示されない場合は、パソコンの電源を切り、接続を確認してからもう一度やり直してください。

#### おしらせ

- FOMA端末をパソコンに差したまま、休止/スタンバイ状態などにしたときは、FOMA端末をパソコンから取り外さないでください。
- 移動するとき、またご利用にならないときはFOMA端末をパソコンから取り外し、FOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れて持ち運んでください。
- FOMA端末をパソコンに差し込んだまま、露出部分を強く握ったりしないでください。けがや故障、破損などの原因になります。
- バッテリー駆動でパソコンをお使いになる場合は、バッテリーの残量にご注意ください。バッテリーが不足した状態で利用すると、FOMA端末の動作が不安定になります。

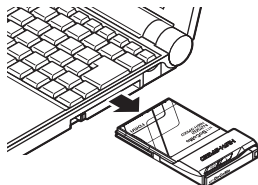
### 取り外しかた

通信回線が切断されていることを確認してください。

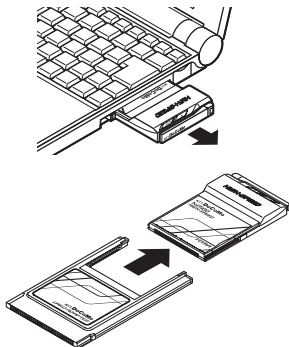
1 タスクトレイアイコンをクリック→  
「FOMA N2502 HIGH-SPEEDを安全に取り外します」などの表示をクリックする

2 PCカードを取り外せる内容のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンから取り外す

#### ■ CFカードスロットから取り外す場合



#### ■ PCカードスロットから取り外す場合



- イジェクトレバーを押すなど、ご利用のパソコンの取扱説明書の指示に従って取り外してください。
- FOMA端末の金属部分が熱くなっている場合がありますので、アンテナ部の側面付近を持って取り外してください。パソコンによってはCFカードスロットやPCカードスロットから取り外しづらい場合があります。

#### おしらせ

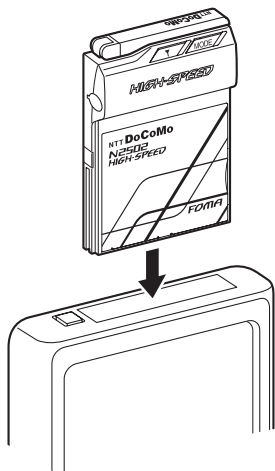
- 取り外したFOMA端末は、FOMA N2502 HIGH-SPEED専用ケースに入れて保管してください。
- 取り外したFOMA端末は、すぐに再び取り付けた場合、認識されないことがあります。3秒ほど待ってから取り付けてください。認識されなかった場合は、一度取り外してから、再び取り付けてください。

## FOMA 端末をPDAに接続する

### 接続のしかた

はじめてFOMA端末をPDAに接続するときは、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。通信設定ファイル（ドライバ）のインストールについては、「PDAで通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」（P.31）をご参照ください。

- 1 PDAの電源を入れる
- 2 FOMA 端末の表・裏を確認して、PDAのCFカードスロットへまっすぐ差し込む



- CFカードスロットの位置、挿入方向はPDAによって異なります。
- CFカードスロットの奥までしっかりと差し込んでください。
- PDAによってはCFカードスロットに差し込みづらい場合があります。
- PDAの使用方法など詳細は、PDAの取扱説明書をご覧ください。

### 取り外しかた

通信回線が切断されていることを確認した上で、PDAの取扱説明書に従って取り外してください。





# セットアップ

## ■セットアップをする前に

セットアップについて ..... 24

## ■パソコンでの利用

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする ..... 26

## ■PDAでの利用

PDAで通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする ..... 31

# セットアップについて

パソコンへのセットアップとPDAへのセットアップでは手順が異なります。ご利用になる機器に合った手順をご参照ください。

## パソコンへのセットアップ完了までの流れ

次のソフトのインストールは、付属のCD-ROMから行います。

- ご利用のパソコンにCD-ROMドライブがない場合や、PCカードスロットが1つしかなく、そこに外付けのCD-ROMドライブを接続している場合は、あらかじめCD-ROMの内容をパソコンのハードディスクにコピーしてから、セットアップを行ってください。

### 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに認識させるためのソフトをインストールします。

- Windows Vistaの場合→P.27
- Windows XPの場合→P.28
- Windows 2000の場合→P.28
- 「インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」→P.29

### FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする

FOMA端末の状態確認や各種設定を行うためのソフトをインストールします。

- 「FOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする」→「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.32

<FOMA PC設定ソフトを使って接続先の設定をする場合>

<FOMA PC設定ソフトを使わない場合>

### FOMA PC設定ソフトをインストールする

パケット通信／64Kデータ通信の通信設定を簡単な操作で行うためのソフトをインストールします。

- 「FOMA PC設定ソフトをインストールする」→「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.48

<パケット通信をする場合>

<64Kデータ通信をする場合>

### 設定する

- mopera U, mopera → 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.54
- その他のプロバイダ → 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.58

### 設定する

- mopera U, mopera → 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.64
- その他のプロバイダ → 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.66

### 設定する

- FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をします。  
→ 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.76

### 接続と切断

- 接続します。→ 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.70
- 切断します。→ 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.71

### 接続と切断

- 接続します。→ 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.86
- 切断します。→ 「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.88

## パソコンの動作環境を確認する

FOMA端末を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	CF (TYPE II) またはPCカード (TYPE II) に対応したカードスロットを持つもの
OS	Windows Vista 日本語版 Windows XP 日本語版 Service Pack2以降 Windows 2000 日本語版 Service Pack4以降
メモリ	Windows Vista : 推奨 1GB以上 Windows XP : 推奨 512MB以上 Windows 2000 : 推奨 256MB以上
ハードディスク	20MB以上の空き容量

### おしらせ

- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
- 動作環境によっては、ご使用になれない場合があります。また、上記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 対応OSであっても、アップグレードしたOSでの動作は保証いたしかねます。

## PDAへのセットアップ完了までの流れ

PDAでFOMA端末のセットアップを行うためには、ActiveSync/Windows Mobile Device Centerがインストールされたパソコンを使って必要なソフトをインストールします。ソフトのインストールは、付属のCD-ROMから行います。

- ご利用のパソコンにCD-ROMドライブがない場合や、PCカードスロットが1つしかなく、そこに外付けのCD-ROMドライブを接続している場合は、あらかじめCD-ROMの内容をパソコンのハードディスクにコピーしてからセットアップを行ってください。
- パソコンとPDAを同期させるソフトは、パソコンのOSにより異なります。Windows XP/2000の場合はActiveSync4.5以上、Windows Vistaの場合はWindows Mobile Device Center6.0以上を使用してください。

### PDA用ソフトウェアの通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をPDAに認識させるためのソフトをインストールします。

- Windows Vistaの場合→P.31 ※Windows Vistaでsigmarion IIIを利用する場合→P.32
- Windows XP、Windows 2000の場合→P.32

### PDA用ソフトウェアのFOMA N2502 HIGH-SPEEDユーティリティをインストールする

FOMA端末の状態確認や各種設定を行うためのソフトをインストールします。

- 「各種ソフトをインストールする」→「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.95

<パケット通信をする場合>

#### ダイヤルアップを作成する

パケット通信で接続できるようにするための設定を行います。→「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.101

<64Kデータ通信をする場合>

#### ダイヤルアップを作成する

64Kデータ通信で接続できるようにするための設定を行います。→「FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書」P.103

### 接続する

インターネットに接続します。

## PDAの動作環境を確認する

FOMA端末を利用するためのPDAの動作環境は以下のとおりです。

- FOMA N2502 HIGH-SPEEDに対応していない機種もあります。
- 使用可能となるPDAの最新情報については、ドコモのホームページ (<http://www.nttdocomo.co.jp>) にて、ご確認ください。

項目	必要環境
PDA本体	CF (TYPE II) に対応したカードスロットを持ち、下記OSが動作するPDA および sigmarion III
OS	Windows CE .NET 4.1 日本語版 Windows Mobile 5.0 日本語版

### おしらせ

- 本FOMA端末に対応したWindowsが動作し、ActiveSync / Windows Mobile Device Centerがインストールされたパソコンを使用してセットアップを行ってください。なお、ActiveSync / Windows Mobile Device Centerの操作や設定などの詳細につきましては、マイクロソフトにお問い合わせください。
- バッテリーが充電不足の場合、セットアップが正常に行われない可能性があります。ACアダプタを接続するか、充電が完了してからセットアップを行ってください。

## 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

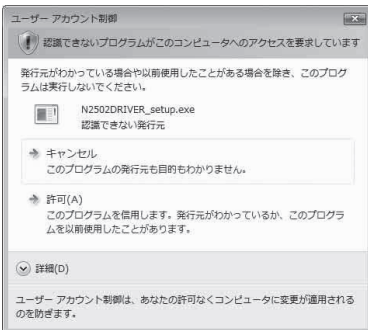
通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは、利用するパソコンに初めてFOMA端末を接続するときのみ行います。

### インストールする

- あらかじめFOMA端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストールを始める前に、現在使用中または常駐しているプログラムを終了してください。
- インストール手順や確認手順は、OSにより異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明をご参照ください。

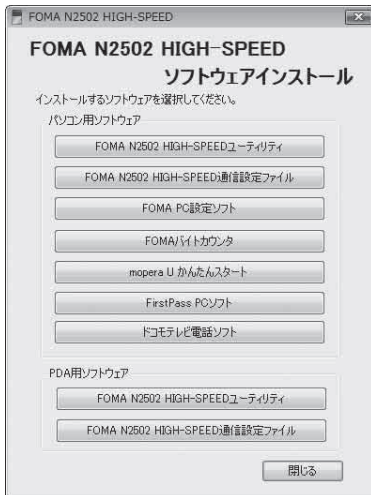
## ● Windows Vistaの場合

- 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」をクリックしてください。



### ① Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

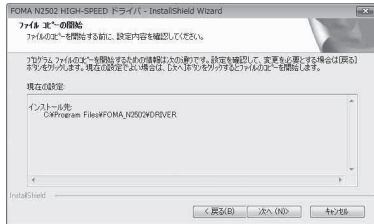
### ② パソコン用ソフトウェア [FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル] をクリックする



### ③ [次へ] をクリックする



### ④ [次へ] をクリックする



Windows Vista 64bit版の場合は、インストール先は次のフォルダになります。  
C:\Program Files(x86)\FOMA\_N2502\DRIVER

### ⑤ [完了] をクリックする



### ⑥ FOMA端末をパソコンに接続する

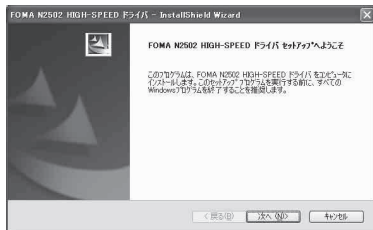
自動的にインストールが始まります。しばらくするとタスクトレイ上に「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」、「デバイスを使用する準備ができました」が表示されて、インストールが完了します。

## ● Windows XPの場合

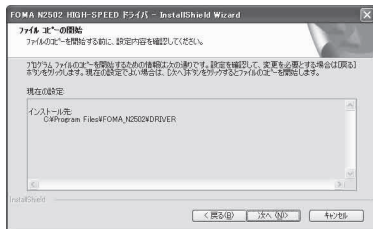
- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア【FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル】をクリックする



- 3 [次へ] をクリックする



- 4 [次へ] をクリックする



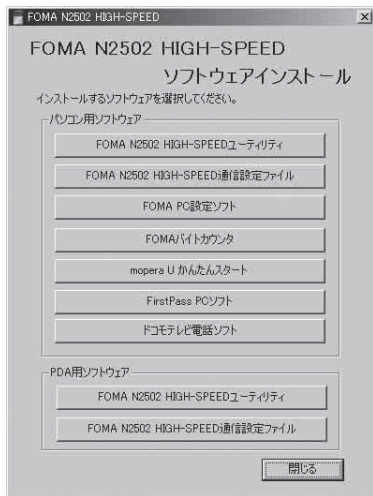
- 5 [完了] をクリックする



- 6 FOMA端末をパソコンに接続する  
自動的にインストールが始まり、しばらくすると完了します。

## ● Windows 2000の場合

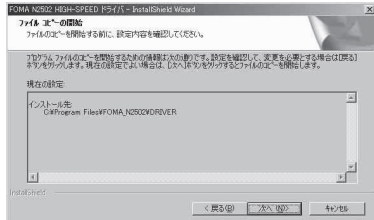
- 1 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 パソコン用ソフトウェア【FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル】をクリックする



## 3 [次へ] をクリックする



## 4 [次へ] をクリックする



## 5 [完了] をクリックする



## 6 FOMA 端末をパソコンに接続する

自動的にインストールが始まり、しばらくすると完了します。

## インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

### ● Windows Vista の場合

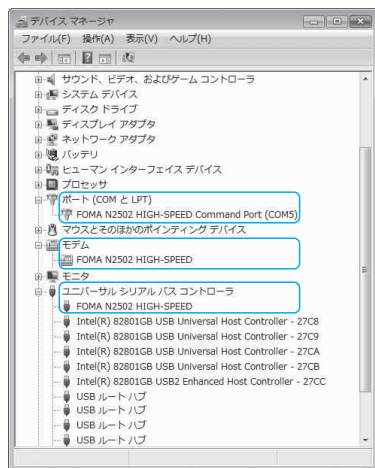
● 設定により「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。表示された場合は「許可(A)」または「続行(C)」をクリックしてください。

### 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス] をクリックする

### 2 [デバイスマネージャ] をクリックする

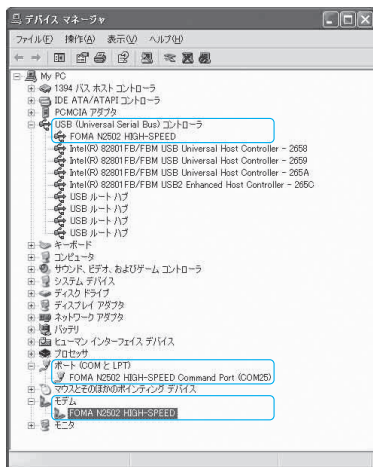
### 3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

● インストールされたドライバ名一覧に記載された内容を確認します。



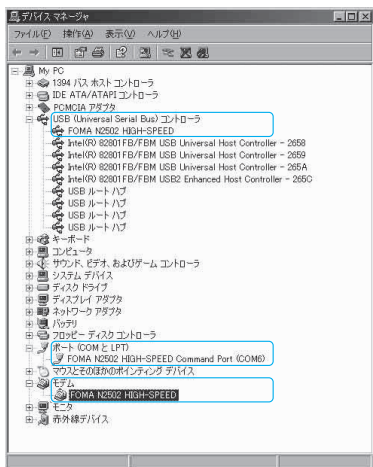
## ● Windows XPの場合

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [システム] をクリックする
- 2 [ハードウェア] タブ → [デバイスマネージャ] をクリックする
- 3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する
  - ・インストールされたドライバ名一覧に記載された内容を確認します。



## ● Windows 2000の場合

- 1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] をダブルクリックする
- 2 [ハードウェア] タブ → [デバイスマネージャ] をクリックする
- 3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する
  - ・インストールされたドライバ名一覧に記載された内容を確認します。



## ● インストールされたドライバ名一覧

デバイス名	ドライバ名
ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB (Universal Serial Bus) コントローラ	FOMA N2502 HIGH-SPEED
ポート (COM と LPT)	FOMA N2502 HIGH-SPEED Command Port
モデム	FOMA N2502 HIGH-SPEED

### おしらせ

- COMポート番号はお使いのパソコンによって異なります。



## おしらせ

- 引き続き、接続先の設定をする場合は次の参照先に進んでください。  
FOMA PC設定ソフトを利用して接続先の設定をする→『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.46  
FOMA PC設定ソフトを利用せずに接続先の設定をする→『FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書』P.76
- 通信設定ファイル（ドライバ）の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、「アンインストールする」の手順に従ってN2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル（ドライバ）を一旦削除してから、再度インストールしてください。

## アンインストールする

「FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル（ドライバ）」のアンインストールについて説明します。

- あらかじめFOMA端末をパソコンから取り外しておいてください。
- Administrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントで行うとエラーになります。パソコンのAdministrator権限または管理者権限の設定など詳細については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- アンインストール方法の詳細については、『FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書』P.29をご覧ください。

## PDAで通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

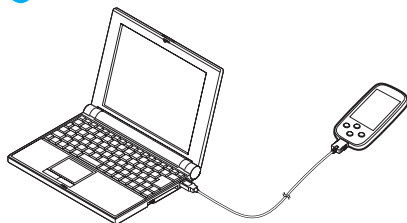
### インストールする

- インストールを行う前は、FOMA端末をPDAに接続しないでください。
- インストールするときは、パソコンおよびPDAのバッテリーが十分に充電されていることをご確認ください。充電が不足している場合には、AC電源など安定した電源を確保した状態でインストールを行ってください。
- N2502ソフトウェアをインストールする前に、あらかじめパソコンとPDAを接続し、必要なソフトをインストールしてください。
- パソコンとPDAの接続方法や、PDAの操作方法は、PDAの取扱説明書をご覧ください。

## ● Windows Vistaの場合

- sigmarion IIIはWindows Mobile Device Centerに対応していないため、インストール手順が異なります。sigmarion IIIを利用する場合は「Windows Vistaでsigmarion IIIを利用する場合」（P.32）を参照してください。

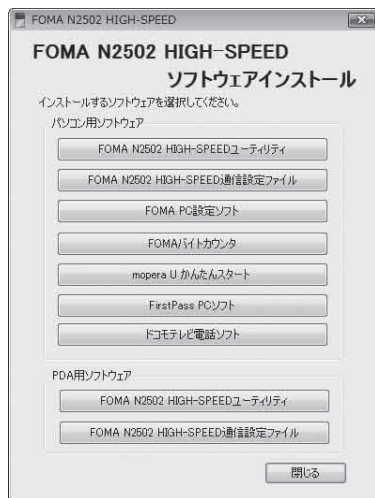
### ① PDAをパソコンに接続する



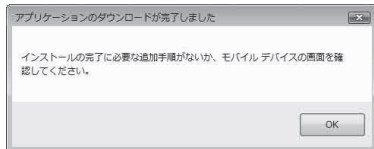
### ② Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

### ③ PDA用ソフトウェア【FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル】をクリックする

パソコンからPDAに必要なファイルがインストールされます。



#### 4 [OK] をクリックする

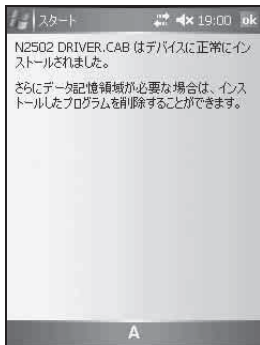


このとき、お使いのPDAの画面上で「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか?」と表示されることがありますが、問題ありませんので [はい] をタップしてください。

#### 5 PDAの画面上で [OK] をタップする



#### 6 PDAの画面上で [OK] をタップする



#### 7 パソコンとPDAを取り外す

#### 8 PDAをソフトリセット (再起動) する

FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル (ドライバ) のインストールが完了します。PDAのリセット (再起動) 後に、FOMA端末をCFカードスロットに取り付けてください。

### Windows Vistaでsigmarion IIIを利用する場合

● sigmarion IIIをパソコンに接続します。

#### ■ 通信設定ファイル (ドライバ) のインストール

● パソコン側で、sigmarion IIIに通信設定ファイル (ドライバ) のインストール用ファイルをコピーします。

コピーするファイル:

付属 CD-ROM 内の [PDA] → [PDAInstall] → [Driver] フォルダ内の [N2502DRIVER.CE.CAB]

コピー先のフォルダ:

[C:] → [コンピュータ] → [ポータブルデバイス] → [WindowsCE] → [¥] → [My Documents] フォルダ

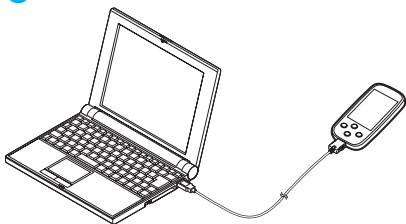
● sigmarion III側で、コピーした [My Documents] フォルダ内の [N2502DRIVER.CE.CAB] をダブルタップします。

→ インストール先は初期状態から変更せずに [OK] をタップ → [OK] をタップします。

● パソコンと sigmarion III を取り外し、sigmarion III をソフトリセット (再起動) します。

### ● Windows XP、Windows 2000の場合

#### 1 PDAをパソコンに接続する

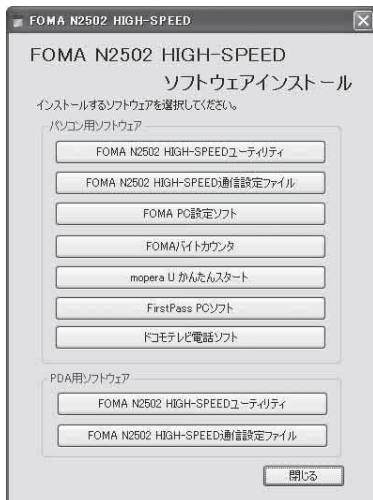


#### 2 Windowsを起動して、付属のCD-ROMをパソコンにセットする

### 3 PDA用ソフトウェア【FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル】をクリックする

パソコンからPDAに必要なファイルがインストールされます。

sigmarion IIIでは、「既定のアプリケーションセットアップディレクトリに“N2502 DRIVER”をインストールしますか？」と表示されますので、かならず【はい】をクリックしてください。

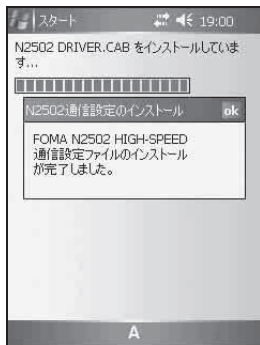


### 4 【OK】をクリックする

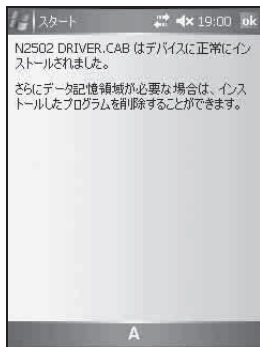


このとき、お使いのPDAの画面上で「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか？」と表示されることがありますが、問題ありませんので【はい】をタップしてください。

### 5 PDAの画面上で【OK】をタップする



### 6 PDAの画面上で【OK】をタップする



### 7 パソコンとPDAを取り外す

### 8 PDAをソフトリセット（再起動）する

FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールについて説明します。PDAのリセット（再起動）後に、FOMA端末をCFカードスロットに取り付けてください。

## アンインストールする

「FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル（ドライバ）」のアンインストールについて説明します。PDAにインストールされたソフトをアンインストールするときは、インストールするときに使用したパソコンのActiveSync / Windows Mobile Device Centerを使用します。

- あらかじめFOMA端末をPDAから取り外しておいてください。
- アンインストール方法の詳細については、『FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書』P.116をご覧ください。



# 付録

CD-ROMの内容について .....	36
故障かな？と思ったら、まずチェック！ .....	37
こんな表示が出たら .....	38
用語解説 .....	39
保証とアフターサービス .....	41
輸出管理規制について .....	42
主な仕様 .....	43
索引 .....	45

# CD-ROMの内容について

付属のCD-ROMには次の内容が収録されています。

ファイル名	内容
FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ	FOMA端末の状態確認や通信に関わる設定を行うためのソフトウェアです。
FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル	FOMA端末をパソコンに認識させて使用できるようにするためのソフトウェアです。
FOMA PC設定ソフト	パケット通信や64Kデータ通信を行うために、簡単にダイヤルアップの設定を行うためのソフトウェアです。
FOMAバイトカウンタ	パケット通信による送受信バイト数や利用金額の目安を確認できるソフトウェアです。
mopera U かんたんスタート	mopera Uサービスの利用に必要な設定を簡単に行うためのソフトウェアです。
FirstPass PCソフト	ドコモの電子認証サービスFirstPass対応サイトにアクセスする場合には必要なソフトウェアです。 ● インストール方法やソフトの使いかたなど詳しくは、CD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。
ドコモテレビ電話ソフトのご案内	FOMA端末とパソコンを組み合わせ、パソコンでのテレビ電話を可能とするソフトウェアについてのご案内です。
FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書	FOMA PC設定ソフトによる通信設定方法やFOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティの操作方法などを説明している取扱説明書です。 ● CD-ROM内の「Manual」フォルダ内の「N2502_J_All.pdf」（日本語版）／「N2502_E_All.pdf」（英語版）（PDF形式）をご覧ください。

## おしらせ

- FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフト、mopera U かんたんスタート、FOMAバイトカウンタについては、次のURLからダウンロードすることもできます。  
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/index.html>
- 「FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書」／「FirstPassManual」をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。
- ソフトウェアの仕様は、予告なく変更する場合があります。最新のソフトウェアは、ドコモのホームページをご覧ください。

# 故障かな？と思ったら、まずチェック！

- 参照先が「取扱説明書」となっている場合は、付属のCD-ROMに収録されている『FOMA N2502 HIGH-SPEED 取扱説明書』をご覧ください。

## ■ FOMA 端末が認識されない

症状	チェックする箇所	参照ページ
FOMA 端末が認識されない	PC カードスロットに FOMA 端末をもう一度奥までしっかりと差し込んでください。	P.19
	FOMA 端末の通信設定ファイル（ドライバ）が正しく機能しているか確認してください。	P.29
	FOMA 端末を一旦取り外し、再度挿入してください。それでも認識できない場合は、FOMA 端末を取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度 FOMA 端末を挿入してみてください。	—

## ■ 通信時のトラブル

症状	チェックする箇所	参照ページ
通信できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。	P.15、 『取扱説明書』 P.37
	発信番号通知の設定が利用するプロバイダと異なっていると、通信できない場合があります。作成したダイヤルアップネットワークの接続アイコンを右クリックし、「プロパティ」を右クリックして、電話番号に付加された「184」または「186」を確認し、指示と異なっている場合は修正してください。	『取扱説明書』 P.39、 70
	「PIN1コード照合」を「照合する」にしていないか確認してください。「照合する」に設定されていると、そのままダイヤル接続することができません。FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティを起動して PIN1 コードを照合してください。	『取扱説明書』 P.41
	モデムのプロパティ設定と接続先（APN）の登録を確認してください。	『取扱説明書』 P.75、 78
	接続先のアクセスポイント（電話番号）や通信方式（パケット通信／64K データ通信）が合っているか確認してください。	『取扱説明書』 P.53、 76
	ドコモテレビ電話ソフトを起動、またはタスクトレイに常駐している場合は、ドコモテレビ電話ソフトを終了してください。	—
	FOMA 端末を一旦取り外し、再度挿入してください。それでも通信できない場合は、FOMA 端末を取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度 FOMA 端末を挿入してみてください。	—
インターネットに接続できない	ログオン時のユーザー名やパスワードなどが、利用するプロバイダ指示情報に従って入力されているか確認してください。	『取扱説明書』 P.53、 76
すぐに切断される	接続先が混み合っている可能性があります。しばらくしてからもう一度接続してみてください。	—
	電波の弱い場所で利用しているときは、アンテナランプが緑色またはオレンジ色で点灯される場所に移動してください。	P.15

## ■ ATコマンドに関するトラブル

症状	チェックする箇所	参照ページ
コマンドを入力したら「ERROR」が表示される	正しいコマンドを入力しているか確認してください。	『取扱説明書』 P.121
	FOMA 端末以外の機器を選択していないかターミナルソフトのプロパティを確認してください。	—
ATコマンドを入力しても「OK」が表示されない	FOMA 端末の通信設定ファイル（ドライバ）が正しく機能しているか確認してください。	P.29
	ATまたはatで始まるコマンドになっているか、大文字と小文字は混在していないか確認してください。	『取扱説明書』 P.120
	ATE1のコマンドを入力してみてください。	『取扱説明書』 P.126
ATコマンドを入力できない	ドコモテレビ電話ソフトを起動、またはタスクトレイに常駐している場合は、ドコモテレビ電話ソフトを終了してください。	—

## ■ その他のトラブル

症状	チェックする箇所	参照ページ
リダイヤルできない	64K データ通信、テレビ電話通信では接続先が応答しない場合は、続けて同じ接続先に発信することはできません。1分ほど待ってから再発信してください。	—
状態表示ランプが点灯しない	「省電力モード」の設定を有効にしているか確認してください。	『取扱説明書』 P.43
急に動作しなくなった	FOMA 端末にFOMAカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.16
	FOMA 端末を一旦取り外し、再度挿入してください。それでも動作しない場合は、FOMA 端末を取り外し、パソコンの再起動を行った後、再度FOMA 端末を挿入してみてください。	—
	周辺機器や他のソフトウェアをインストールしたことなどにより、パソコンの環境が変わった可能性があります。通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールを行った後、再度インストールしなおしてください。	P.26
通信設定ファイル（ドライバ）のインストール操作で、FOMA 端末をPCカードスロットに挿入しても、ハードウェアを検出しない	FOMA 端末をPCカードスロットに挿入したままパソコンを再起動してください。	—

## こんな表示が出たら

FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ利用時に表示される主なエラーメッセージを表示します。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
端末と正常に通信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> <li>● FOMA N2502 HIGH-SPEED 以外の端末が接続されている場合、その端末とは通信できません。</li> <li>● FOMAカードが壊れている場合、その端末とは通信できません。</li> <li>● 端末の設定情報を取得できませんでした。もう一度やり直してください。</li> </ul>	— — —
モデムポートが利用できません モデムが他で使用していないか確認してください	● モデムポートが利用できません。モデムが他で使用していないか確認してください。	—



エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
PIN1コードが認識できませんでした	● 間違ったPIN1コードが入力されました。正しいPIN1コードを入力してください。	P.16
PIN1コードがロックされました	● 規定数以上の間違ったPIN1コードが入力されたため、PINロック状態になりました。PINロック解除コード（8桁の数字）を入力してください。	P.17、 「取扱説明書」P.42
PINロック解除コードが認識できませんでした	● 間違ったPINロック解除コードが入力されました。正しいPINロック解除コードを入力してください。	P.17、 「取扱説明書」P.42
PINロック解除コードがロックされました	● 規定数以上の間違ったPINロック解除コードが入力されたため、FOMAカードが完全にロックされました。ドコモの窓口にお問い合わせください。	P.17
FOMAカード（UIM）を挿入してください	● FOMA端末にFOMAカードが取り付けられていません。取り付けから再度操作してください。	P.16
この名前の接続は既に存在します 他の名前を入力してください	● 同名のダイヤルアップエントリが既に存在するので、別名でダイヤルアップエントリを作成してください（PDAのみ表示されません）。	—

## 用語解説

### ■ あ行

#### アクセスポイント

インターネットに接続するための中継地点のこと。パソコンなどから電話回線を使い、アクセスポイントを経由することで、インターネットに接続できます。

#### アンインストール

PCに取り込んだ外部データをパソコンから削除すること。

#### インストール

CDなどに収録されている外部データをパソコンの中に入れて使えるようにすること。

### ■ た行

#### ダイヤルアップ

電話回線を通じてインターネットに接続すること。

### ■ は行

#### パケット通信

ネットワーク上でデータを受け渡しする際に、小さく分割して送信／受信を行う通信方式のこと。これにより、データの送受信中他のデータを割り込ませたり、大きなデータも細分化して通信を行うことにより、ネットワーク全体の送受信の効率が向上します。

#### パソコンの管理者権限

Windows Vista、Windows XP、Windows 2000のシステムすべてにアクセスできる権限のこと。管理者権限を持たないユーザは通信設定ファイル（ドライバ）やFOMA PC設定ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

#### プロトコル

コンピュータ同士でデータをやり取りするときの通信規約のこと。

#### プロパティ

Windowsのファイルやアイコンの持つ「属性」や「設定」のこと。そのアイコンを選択して右クリックすると、参照したり変更したりできます。

## ポート

インターネット上の通信において、複数の相手と同時に通信を行うために、IPアドレスの下に設けられた補助アドレスのこと。ポートの指定には0～65535までの数字が使われるため。「ポート番号」とも呼ばれます。

## ■ま行

### モデム

パソコンから電話回線を利用して通信できるようにする機器のこと。

## ■や行

### ユーティリティ

様々な補助的機能を提供してFOMA端末の利便性をより高くするためのソフトウェアのこと。

## ■英数字

### APN

Access Point Nameの略で、パケット通信の接続先（プロバイダなど）名のこと。例えばドコモのインターネット接続サービス「mopera U」の場合は、「mopera.net」のような文字列で表示します。

### bps

bit per secondの略で、データ通信速度を示す単位のこと。1秒間に送られるビット数（情報量）を表します。

### cid

Context Identifierの略で、パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号のこと。  
本FOMA端末では1～10までの10件のAPNを登録できます。

### DNS

Domain Name Systemの略です。「nttdocomo.co.jp」のような、人が理解しやすいドメイン名を、コンピュータが管理するための数字で表したIPアドレスに変換するシステムのこと。

### HSDPA

High Speed Downlink Packet Accessの略で、世界標準規格であるW-CDMAのパケット通信をさらに高速化した規格のこと。FOMAハイスピードエリアであれば、受信最大7.2Mbpsの高速通信が可能です。

### ID

ユーザの情報を管理するための番号のこと。ユーザ登録などした場合に発行されます。

### IP

Internet Protocolの略で、インターネットで標準的に使用されている通信規約のこと。

### IPアドレス

インターネットに接続している機器を識別するためのアドレスのこと。通常は「XXX.XXX.XXX.XXX」のようにピリオドをはさんだ4つの数字（0～255）で表し、インターネットに接続しているすべての機器に割り当てられています。

### ISDN

Integrated Service Digital Networkの略で、総合デジタル通信網のこと。アナログ電話回線に比べて高速な通信が可能です。

### QoS

Quality of Serviceの略で、ネットワークのサービス品質のこと。FOMA端末のQoS設定ではデータ通信速度の条件を指定できます。（接続時の速度は通信状況などによって変化します）。

### W-CDMA

Wideband Code Division Multiple Accessの略で、世界標準規格として認定された第3世代移動通信システム（IMT-2000）のこと。広帯域符号分割多元接続で、無線通信における多元接続方式の1つです。  
FOMA端末はW-CDMA規格に準拠しています。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

## アフターサービスについて

### ● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック！」をご覧ください。それでも調子がよくない時は、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

### ● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

#### ■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後のコネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

#### ■ 以下の場合、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

#### ■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

#### ■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

## ■お願い

- FOMA 端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 接着剤などにより FOMA 端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
    - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。  
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA 端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA 端末の状態によっては修理できないことがあります。

## 輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。

また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。

本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

## FOMA N2502 HIGH-SPEED本体

### ■対応OS

Windows 2000 日本語版 Service Pack 4以降  
Windows XP 日本語版 Service Pack2以降  
Windows Vista 日本語版  
Windows CE .NET 4.1 日本語版  
Windows Mobile 5.0 日本語版

### ■通信速度

パケット通信

受信 最大7.2Mbps (ベストエフォート方式)※  
送信 最大384kbps (ベストエフォート方式)※

※：最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。

※：実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

※：最大7.2Mbpsによる通信は、ネットワークが対応後にご利用可能となります。

※：FOMAハイスピードエリア外では、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。

64K データ通信

受信/送信 最大64kbps

テレビ電話

受信/送信 64kbps

### ■環境条件

動作時

温度：5℃～35℃

湿度：45%～85%

### ■電源

電源電圧

3.3V / 5.0V (パソコン/PDAのカードスロットより給電)

消費電流

通信時最大電流：約680mA (3.3V) / 約460mA (5.0V)

通信時平均電流：約490mA (3.3V) / 約330mA (5.0V)

待ち受け時 (通常モード設定のとき)：約16mA (3.3V) / 約14mA (5.0V)

但し、使用状況により消費電流値の変動があります。

### ■形状

幅約42.8mm×厚さ約5mm (最厚部約8.7mm)×高さ約65mm

### ■質量

約24g

### ■技術基準設計認証番号

AD07-0554001

## PCカードアダプタ

### ■接続機種

PCカードスロット側 PC Card Standard 95準拠 (3.3V/5.0V)

### ■コネクタの電流

0.5A/1ライン

### ■環境条件

動作時

温度：5℃～35℃

湿度：45%～85%

### ■形状

幅約54mm×厚さ約5mm×高さ約85.6mm

### ■質量

約24g

# 索引

<b>あ</b>		<b>や</b>	
アフターサービス	41	輸出管理規制	42
アンインストール		用語解説	39
パソコン用通信設定ファイル			
(ドライブ)	31	<b>ら</b>	
PDA用通信設定ファイル		ランプ	15
(ドライブ)	33		
安全上のご注意	6	<b>英字</b>	
アンテナランプ	15	ActiveSync	25
インストール		FOMAカード	16
パソコン用通信設定ファイル		暗証番号	16
(ドライブ)	26	取り付け/取り外し	16
PDA用通信設定ファイル		mopera U	5
(ドライブ)	31	PCカードアダプタ	11
エラーメッセージ	38	PDAでの利用	
		インストール	31
<b>か</b>		動作環境	26
各部の名称と機能	14	PDAと接続	21
故障かな?と思ったら	37	PINロック解除コード	17
		PIN1コード	16
<b>さ</b>		PIN2コード	16
仕様	43	Windows Mobile Device	
		Center	25
<b>た</b>			
知的財産権	10	<b>数字</b>	
通信設定ファイル(ドライブ)	26	64Kデータ通信	18
アンインストール	31, 33		
インストール	26, 31		
動作環境	25, 26		
テレビ電話	19		
動作環境			
パソコン	25		
PDA	26		
ドライブ	26, 31		
取り扱い上の注意	9		
<b>は</b>			
パケット通信	17		
パソコンと接続	19		
付属品	11		
保証	41		
<b>ま</b>			
モードランプ	15		







# FOMA<sup>®</sup> N2502 HIGH-SPEED

ISSUE DATE:

'08.3

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

Manual for Connection Guide

# DoCoMo

## W-CDMA System

Thank you for choosing FOMA N2502 HIGH-SPEED.

Read this manual carefully before or while using FOMA N2502 HIGH-SPEED for proper operation. If you have further questions regarding manual, contact the general inquires contained on the back cover of this manual.

FOMA N2502 HIGH-SPEED is your excellent partner. Take good care of it and always treasure it.

### Before Using your FOMA Terminal

- Wireless transmission functioning of FOMA terminal may be unavailable for operations in out-of-service areas such as tunnels, undergrounds and inside of buildings, or even outdoors in poor signal conditions or outside the service area. In addition, reception may fail even in upper floors with unobstructed view including high-rise buildings or condominiums. Note that, moreover, transmission may be disrupted even in strong signal conditions with an antenna lamp in green or orange and without moving.
- Use your FOMA terminal not to bother others around you especially in a public, crowded or quiet place.
- Employing radio waves to the FOMA terminal makes eavesdropping not impossible. However, W-CDMA system performs all communication as confidential and even if a third party succeeds in eavesdropping, a message can only be read as unknown data.
- The FOMA terminal conducts wireless communication. Therefore, if the transmitted digital signal cannot properly be restored according to conditions such as moving into a poor signal area, received information may differ from the actual transmitted one.
- Under no circumstances shall NTT DoCoMo be held liable for any genuine economical loss, due to missing opportunity such as communication, resulting from external causes such as malfunction, failure of the FOMA terminal or blackout.
- This FOMA terminal supports FOMA Plus-Area and FOMA High-speed area.
- The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- This FOMA terminal does not support i-mode functions including i-mode mail, public website access and i-appli.

### For the First Time User

If this FOMA terminal is your first use, start reading this manual in the following sequence. Doing so will help you understand preparation and basic operation for using the FOMA terminal.

1. Learning "Precaution" → p.6
2. Understanding the parts and functions of the FOMA terminal → p.14
3. Connecting the FOMA terminal to a PC → p.19
4. Recognizing the FOMA terminal on your PC → p.26
5. Configuring PC to communicate with the FOMA terminal  
→ "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.46

Latest manual information may be released on DoCoMo website.

· To download the instruction manual (PDF), access the following site:  
<http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/manual/index.html>

\* The URL and the contents are subject to change without notice.

# Manual Reference

## Manual contents

The following two manuals are available for the instruction to operate FOMA N2502 HIGH-SPEED; "Manual for Connection Guide" (this manual) and "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED" (contained in the attached CD-ROM).

### ■ "Manual for Connection Guide" (this manual)

This manual describes the following contents including connection to PC, troubleshooting and specifications. When the reference is described as "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", refer to "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED" contained in the attached CD-ROM.

- Table of Contents, Precautions
- Before Use
- Setup
- Appendix

### ■ "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED" (contained in the attached CD-ROM)

This manual describes the following contents including how to set communication using FOMA PC setting software as well as the contents of the manual above. To view this manual, Adobe® Reader® (version 6.0 or later recommended) is required. You can download the latest version from the website of Adobe Systems Incorporated. (Separate communication charges will be applied.)

- Utility
- Other dedicated application (for communication setting via FOMA PC setting software, etc.)
- Use in PDA

## Manual search

This manual offers the following effective search that you can find functions or services.

### Index

→ p.45

Find the function or service directly if you have already learned the name.

### Index on the front cover

→ Cover

Use Index on the front cover to find the first chapter page and look up the specific contents.

See the next page for details.

### Contents

→ p.4

Find the functions through Table of Contents categorized by function.

### Feature Preview

→ p.5

Find enjoyable characteristic functions.

- In this "Manual for Connection Guide", "FOMA N2502 HIGH-SPEED" is referred to as "FOMA terminal".
- Some operating procedures or screens in this manual may differ from the actual ones according to your current environment.
- If operations and screens are almost the same according to OS installed in PC, some description may insert only sample screens as in the case of Windows XP.
- Unauthorized copying/reprinting is prohibited.
- The contents of this manual are subject to change without notice.

# Manual Reference (Continued)

## Index

➔ p.45

You can find keywords and functions displayed on the display of the FOMA terminal.

Communication settings		Operating environment . . . . .	95
Optimize communication settings . . . . .	72	Utility (for PC) . . . . .	32
Use FOMA PC Setting Software . . . . .	53	Help . . . . .	38
Without FOMA PC Setting Software . . . . .	76	Install . . . . .	32
Component Names and Functions . . . . .	14	Main screen . . . . .	37
Connecting to a PC . . . . .	19	Operating environment . . . . .	32
Connecting to a PDA . . . . .	21	Start . . . . .	37
		Uninstall . . . . .	36
<b>D</b>		Utility (for PDA)	
Dial Settings . . . . .	39	Exit . . . . .	100
Dial-up connection . . . . .	86	Help . . . . .	113
Dial-Up Network Setting . . . . .	78	Main screen . . . . .	99
Driver . . . . .	25	Settings screen . . . . .	100
		Start . . . . .	100
<b>E</b>			
Error message . . . . .	135		
<b>L</b>			
Lamp . . . . .	15		
<b>M</b>			
Malfunction checklist . . . . .	134		
Mode lamp . . . . .	15		
mopera U . . . . .	5		
mopera U start up tool . . . . .	90		
Operating environment . . . . .	90		
<b>N</b>			
Network Service Setting . . . . .	44, 114		
<b>O</b>			
Operating environment			

## Index on the Cover

➔ Cover

Refer to “Cover”, “Chapter title page” and “Description pages” sequentially to find the descriptions of the function you want to set. You can find the detailed table of contents on the chapter title page.

<b>FOMA® N2502 HIGH-SPEED</b>		Contents/ Precautions
ISSUE DATE: '08.3		Before Using the FOMA Terminal
NAME:		Setting Up
PHONE NUMBER:		Utility
MAIL ADDRESS:		Other Dedicated Applications
		Usage on PDA
Manual for FOMA® N2502 HIGH-SPEED		Appendix

p.32  
To page “FOMA N2502  
HIGH-SPEED Utility”

<b>Utility</b>	
<b>Utility Features</b>	
FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility . . . . .	32
<b>Installing</b>	
Installing FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility . . . . .	32
<b>Starting/Exiting</b>	
Main Screen . . . . .	37
Activating/Deactivating FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility . . . . .	37
<b>Before Use</b>	
If You Forget Procedures . . . . .	38
Verifying Your Phone Number . . . . .	38
Verifying Utility Version . . . . .	38

\* Actual contents may differ.

This manual uses illustrations and marks to explain how to operate the function so that you can use the FOMA terminal correctly.

Shows the title.

Shows the operational point at each procedure using an image screen. See this informative screen comparing with the one of your PC or PDA. The values are all examples including numeric, settings or characters arbitrarily input.

Indicates the necessary settings, notes or useful information about the function.

**FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility**

Available features with FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility:

- FOMA Terminal Status Verification
- Signal quality or FOMA card status
- Settings Configuration
- Caller ID notification, Packet answer rejection, PIN1 code, etc.

**Checking Operating Environment**

PC operating environment to use FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility:

Item	Required Environment
PC	Card slot compatible with CF (TYPE 2) or PC card (TYPE 2)
OS	Windows Vista Japanese version Windows XP Japanese version with Service Pack 2 or later Windows 2000 Japanese version Service Pack 4 or later
Memory	Windows Vista Japanese version recommended Windows XP: 512 MB or more recommended Windows 2000: 256 MB or more recommended
Hard Disk	20 MB or more available space

**NOTE**

- Operating memory and hard disk available space may vary depending on the system environment.
- May be unusable depending on the operating environment. Diagnostics does not guarantee operation in environments other than the above.
- Operation is not guaranteed on upgraded Operating Systems, even if compatible.

**Installing FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility**

**Installing**

- Remove the FOMA terminal from the PC beforehand.
- Log on as the Administrator or a user with administrative privileges. A user without administrative privileges makes an error. For administrative settings, etc., contact PC manufacturer or Microsoft.
- Before installation, exit running or resident applications.
- Installation/Check procedures vary depending on the Operating System. See instructions for each Operating System.

**On Windows Vista**

- The "ユーザーアカウント制御" (User Account Control) dialog box may appear depending on the setting. When it appears, click "許可 (A)" (Allow).

**Start Windows and set the bundled CD-ROM**

32

Continued on next page

Enables Chapter search using the index on the Cover page.

Indicates operational procedure.

Page number

Indicates that continuous explanation follows on the next page.

\* The image above is a sample page. Actual contents or page number may differ.

\* Screens and illustrations described in this manual are examples. Appearance may be different from the actual one.

# Contents

Manual Reference .....	1
Contents .....	4
Feature Preview of FOMA N2502 HIGH-SPEED .....	5
Precautions (ALWAYS FOLLOW THESE DIRECTIONS).....	6
Handling with Care .....	9
Intellectual Property Right .....	10
Package Contents .....	11

## Before Using the FOMA Terminal

p.13

- Component names and functions
- FOMA card (UIM)
- Communications available from the FOMA terminal
- Connecting the FOMA terminal to a PC
- Connecting the FOMA terminal to a PDA

## Setting Up

p.23

- Setting up
- Installing communication setting file (driver)
- Installing communication setting file (driver) on PDA

## Appendix

p.35

- Contents of the CD-ROM
- Malfunction checklist
- If any error message appears
- Glossary
- Warranty and after-sales service
- Export administration regulations
- Main specifications
- Index

# Feature Preview of FOMA N2502 HIGH-SPEED

FOMA is the name of DoCoMo's service based on the W-CDMA system approved as one of the global standards for third-generation mobile telecommunication systems (IMT-2000).

## Covering FOMA HIGH-SPEED area

FOMA-packet-communication-compatible access points such as DoCoMo Internet connection service "mopera U" enables data communication at up to 7.2 Mbps downlink and up to 384 kbps uplink (best-effort).

- \* 7.2 Mbps max. or 384 kbps max. does not represent the actual communication speed, but the maximum value on the technical standards.
- \* The actual communication speed varies depending on the communication environment or network congestion.
- The communication speed turns to 384 kbps max. for both uplink and downlink when you are out of the FOMA HIGH-SPEED service area, or you connect to the access point including mopera to which the high-speed is not supported.
- DoCoMo Internet connection service "mopera U" (charged) is available. For details, visit the following mopera U Website: <http://www.mopera.net/>
  - \* Transmission data volume is expected to increase when performing packet communication in the FOMA HIGH-SPEED area. Be careful not to use a high amount of expenses for packet communication.

## Utilization available with the FOMA card replaced

Replacing the FOMA card enables use of several FOMA terminals to your purpose.

- Basic monthly fee and communication fee is charged on the FOMA card subscription number provided to the FOMA terminal.

## Small size




Usable for PDA (excluding some models).

## Supporting videophone communication





Using "DoCoMo Videophone Software" enables communication with videophone via PC.

# Precautions (ALWAYS FOLLOW THESE DIRECTIONS)

- To ensure that you use your FOMA terminal correctly, read the Precautions carefully before use. Keep this manual after reading for future reference.
- The precautions must be observed at all times since they contain the information intended to prevent the bodily injuries or the damage to the property.
- The following symbols indicate the different degrees of injuries and damage that may occur if the information provided is not observed and the FOMA terminal is used incorrectly:

 <b>DANGER</b>	Indicates that the death or serious bodily injury may result directly and immediately from the improper use.
 <b>WARNING</b>	Indicates that the death or serious bodily injury may result from the improper use.
 <b>CAUTION</b>	Indicates that the bodily injury and/or damage to the property may result from the improper use.

- The following symbols indicate the specific directions:

 Don't	Indicates that it is prohibited.
 No disassembly	Indicates that it must not be disassembled.
 No liquids	Indicates that it must not be used near the water, which means that you must not wet it.
 Do	Indicates that you must do it following the instructions.

- Safety Precautions are explained in the following four categories:
  1. Handling the FOMA terminal and FOMA card (UIM) (Common) . . . . . 6
  2. Handling the FOMA terminal . . . . . 7
  3. Handling the FOMA card (UIM) . . . . . 8
  4. Handling Mobile Phones near Electronic Medical Equipment . . . . . 8

## 1. Handling the FOMA terminal and FOMA card (UIM) (Common)

### DANGER



**Do not use, leave, or keep the devices in locations subject to high temperatures, such as near the fire or heater, in direct sunlight or inside a car on a hot day.**

This may cause the devices to be deformed, malfunction, overheating, explosion, fire, or suffer performance loss and a reduced service life. Also, this may cause a part of the case to become hot and burn you.



**Do not disassemble or rebuild. Also, do not solder the devices.**

No disassembly

This may cause fire, injury, electric shock or malfunction.



**Do not wet the devices.**

No liquids

Exposing the FOMA terminal and other devices to liquids such as water or pet urine may cause overheating, electric shock, fire, malfunction, injury, etc. Be careful where and how you use the devices.

### WARNING



**Do not place the FOMA terminal or FOMA card (UIM) in cooking appliances such as microwave ovens or in a pressure cooker.**

This may cause the FOMA terminal to overheat, smoke or ignite, or damage the IC.



**Do not shock or throw the FOMA terminal.**

This may cause the device malfunction or fire.



**Keep the conductive foreign materials (metal, pencil lead, etc.) away from the external connector. Do not insert those matters inside.**

This may result in the short-circuit causing the FOMA terminal to ignite or malfunction.





When you are in a place such as a gas station where flammable gas is generated, turn off the FOMA terminal beforehand.

Do not charge as well. Otherwise, catching fire may result.

Do



Turn off the PC connected to FOMA terminal in a place where it is prohibited to use the mobile phone, such as in an airplane or in a hospital.

This may affect the electric or medical equipment. Follow the instructions provided by the medical facility about using the mobile phone.

Do



## CAUTION



Do not leave the FOMA terminal on a slope or unstable surface.

This may fall the FOMA terminal and cause the injury or malfunction.

Don't



Keep the FOMA terminal away from the humid, dusty or hot places.

Doing so may cause malfunction.

Don't



If your child uses the FOMA terminal, instruct him/her how to use it. Make sure that he/she always uses the FOMA terminal correctly as you instruct.

Improper usage could result in the bodily injury.

Do



Keep the FOMA terminal out of young children's reach.

A young child may swallow it or suffer from the injury.

Do

## 2. Handling the FOMA terminal



## WARNING



Do not put the FOMA terminal on the dashboard, etc. as a problem may occur due to air bag inflation.

The air bag inflation may cause the FOMA terminal to hit you or another person, which may lead to injury, malfunction, breakage, etc.

Don't



If you are wearing electronic medical equipment, do not put the FOMA terminal in your breast pocket or in the inside pocket.

Using the FOMA terminal in close proximity to electronic medical equipment may cause the equipment to malfunction.

Don't



Do not put fluids such as water or objects such as pieces of metal or flammable materials into the FOMA card (UIM) inside of the FOMA terminal.

Such actions could cause fire, electric shock or malfunction.

Don't



## CAUTION



Do not swing the FOMA terminal by its antenna.

The FOMA terminal may strike you or others around you, resulting in body injury, malfunction or damage to the FOMA terminal or other property.

Don't



Do not use the FOMA terminal in places crowded with people.

The antenna might hit against others, causing injury.

Don't



Do not use the FOMA terminal with the damaged antenna.

If the damaged antenna comes in contact with your skin, burns or injury could be caused.

Don't



**Do not let the FOMA terminal come close to magnetic cards, etc.**

The magnetic data stored on cash cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be erased.



**Keep the FOMA terminal away from magnetized objects.**

Use in close to the strong magnetism may cause improper operating signals.



**In some types of vehicle, using the FOMA terminal in the vehicle may interfere with the operation of the vehicle's electronic equipment.**

Do not use the FOMA terminal if the terminal may impair the safe driving.



**Using the FOMA terminal may cause skin irritations such as itch, rashes or eczema. If this occurs, immediately stop using the FOMA terminal and see a doctor.**

Metal components are used for the following parts.

Parts	Material	Finish
Metal (silver) parts on the front and rear side	Stainless	—
Screws used on the rear side	Iron	Trivalent chromium-plate
Antenna pins	Brass	Black nickel-plate

### 3. Handling the FOMA card (UIM)



**CAUTION**



**Be careful about a cut surface or other parts when dismantling the FOMA card (IC part).**

This may injure your hands or fingers.

## 4. Handling Mobile Phones near Electronic Medical Equipment

The following precautions conform to the guidelines drawn up during the Electromagnetic Compatibility Conference Japan, regarding how to protect electronic medical equipment from radio waves emitted by mobile phones.



**WARNING**



**Observe the following in hospitals or other medical facilities:**

- Do not take your FOMA terminal into operating rooms, ICUs (Intensive Care Units) or CCUs (Coronary Care Units).
- Turn off your PC inside hospital wards.
- Turn off the PC even if you are in a hospital lobby when electronic medical equipments are in use nearby.
- If a medical facility gives specific instructions prohibiting you from carrying or using mobile phones, follow those instructions.
- If the Auto power function is set, make sure to disable the function before turning off the FOMA terminal.



**Turn off the PC in crowded places such as rush-hour trains in case somebody nearby is using an implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter-defibrillator.**

Radio waves may affect the operation of implantable cardiac pacemakers or implantable cardioverter-defibrillators.



**If you use an implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter-defibrillator, keep the FOMA terminal at least 22 cm away from the devices.**

Radio waves may affect the operation of implantable cardiac pacemakers or implantable cardioverter-defibrillators.



**If you use the electronic medical equipment other than implantable cardiac pacemakers or implantable cardioverter-defibrillators out of the medical facility due to the home treatment, etc, consult the respective manufacturers for the information about the effects of radio waves on the equipment.**

Radio waves may affect the operations of the electronic medical equipment.

## Handling with Care

### General Notes

- **Do not water the devices.**  
The FOMA terminal and the FOMA card (UIM) are not water-proof. Do not use them in humid locations such as bathrooms, and avoid exposing them to rain. If you carry your FOMA terminal close to your skin, sweat may cause internal components to corrode and result in a malfunction. If the problem is found to be due to moisture, it will not be covered by the warranty and in some cases may be irreparable. Even if it can be fixed, you will be charged since the damage is not covered by the warranty.
- **Wipe with a soft, dry cloth (such as a cloth for glasses).**  
Never use chemicals such as alcohol, thinners, benzene or detergents as these agents may erase the printing on the FOMA terminal or cause discoloration.
- **Occasionally clean the connection terminals with a dry cotton bud.**  
Soiled connection terminals may result in poor connections and loss of power.
- **Do not place the FOMA terminal near an air conditioning vent.**  
Condensation may form due to rapid changes in temperature, and this may cause internal corrosion and malfunction.
- **Do not subject the FOMA terminal to excessive pressure.**  
If you put the device in a baggage with too much filler or sit down with it in a pocket, the internal base may result in breakage or failure.
- **Read the separate manuals supplied with the FOMA terminal carefully.**

### Handling the FOMA Terminal

- **Avoid using the FOMA terminal in extremely high or low temperatures.**  
Use the FOMA terminal within a temperature range between 5°C and 35°C with humidity between 35% and 85%.
- **Using the FOMA terminal close to ordinary phones, TVs or radios may affect the operation of such devices. Use the FOMA terminal away from such devices.**
- **It is your responsibility to keep a separate record of all data stored on your FOMA terminal.**  
Under no circumstances shall NTT DoCoMo be liable for any loss or damage to the data stored on your FOMA terminal.
- **Do not try to force the external cable plugged into or unplugged from External connector or Earphone/microphone terminal.**  
Doing so may cause malfunction or damage.

- **Remove the FOMA terminal from the PC when you move.**
- **It is normal for the FOMA terminal to become warm while being used. It is not a malfunction and you can keep on using.**

### Handling the FOMA card (UIM)

- **Do not apply unnecessary force to attach or remove the FOMA card (UIM).**
- **It is normal for the FOMA card (UIM) to become warm while being used. It is not a malfunction and you can keep on using.**
- **Always keep the IC part clean.**
- **Wipe with a soft, dry cloth (such as a cloth for glasses).**
- **It is the user's responsibility to keep a separate record of all data stored on your FOMA card (UIM).**  
Under no circumstances shall NTT DoCoMo be liable for any loss or damage to the data stored on your FOMA terminal.
- **To preserve the environment, take discarded FOMA card (UIM) to the NTT DoCoMo shop or service counter.**
- **Avoid using the FOMA card (UIM) in extremely high or low temperatures.**
- **Do not damage, scratch, touch imprudently, or short circuit the IC.**  
Otherwise, loss of data or malfunction may result.
- **Be careful not to drop the FOMA card (UIM) or apply an impact to it.**  
Doing so may cause malfunction.
- **Do not bend the FOMA card (UIM) or place a heavy object on it.**  
Doing so may cause malfunction.
- **Do not insert the FOMA card (UIM) with a label or sticker attached in the FOMA terminal.**  
Doing so may cause malfunction.

### Caution

- **Do not use the FOMA terminal that has been internally modified. Using a modified FOMA terminal constitutes a violation of the Radio Law.**  
The FOMA terminals are granted Technical Regulations Conformity Certification under the Radio Law and bear a "Technical Conformity Mark" on the adhesive nameplates as evidence of conformity. Unscrewing the FOMA terminal and modifying internal components void the certification. Do not use the FOMA terminal in this state, which is illegal under the Radio Law.

## Intellectual Property Right

### Copyright and Portrait Right

It is prohibited to duplicate, modify or publicly transmit content such as text, images, music or software that downloaded from Internet website and that is subject to third-party copyright without the permission of the copyright holder, except where the duplication or quoting of the content for personal use is permitted under copyright law.

### Trademarks

The company names and brand names described in this manual are trademarks or registered trademarks of the respective companies.

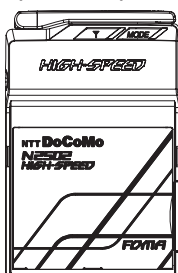
- "FOMA", "mopera U", "mopera", "FirstPass", "DoPa", "sigmarion", and "FOMA" logo are trademarks or registered trademarks of NTT DoCoMo, Inc.
- Free Dial logo mark is a registered trademark of NTT Communications Corporation.
- Adobe and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- Microsoft®, Windows®, Windows Vista® and Windows Mobile® are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- PCMCIA and PC Card are trademarks or registered trademarks of Personal Computer Memory Card International Association in the United States.
- CompactFlash is a registered trademark of SanDisk Corporation in the United States.
- The other brand names described in this manual are trademarks or registered trademarks of the respective companies.
- Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;  
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:  
4,901,307 5,490,165 5,056,109  
5,504,773 5,101,501 5,506,865  
5,109,390 5,511,073 5,228,054  
5,535,239 5,267,261 5,544,196  
5,267,262 5,568,483 5,337,338  
5,600,754 5,414,796 5,657,420  
5,416,797 5,659,569 5,710,784  
5,778,338

### Description of Windows

- In this manual, each OS (Japanese Edition) is described as follows:
  - Windows stands for Microsoft® Windows® operating system.
  - Windows Vista stands for Windows Vista® Home Basic operating system, Windows Vista® Home Premium operating system, Windows Vista® Business operating system, Windows Vista® Enterprise operating system and Windows Vista® Ultimate operating system.
  - Windows XP stands for Microsoft® Windows® XP Professional operating system or Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system.
  - Windows 2000 stands for Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system.
  - Windows CE stands for Microsoft® Windows® CE operating system.
  - Windows XP and Windows 2000 are described as Windows XP, 2000 in this manual.

## Package Contents

### ■ FOMA N2502 HIGH-SPEED (Warranty (Japanese) included)

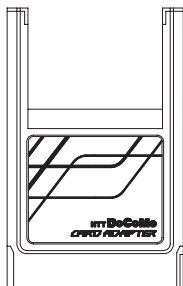


### ■ Carrying case for FOMA N2502 HIGH-SPEED (Sample)



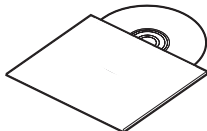
Put the FOMA N2502 HIGH-SPEED into the Carrying case for protection when you do not use it or carry with you.

### ■ PC card adapter (Sample)



### ■ CD-ROM for FOMA N2502 HIGH-SPEED

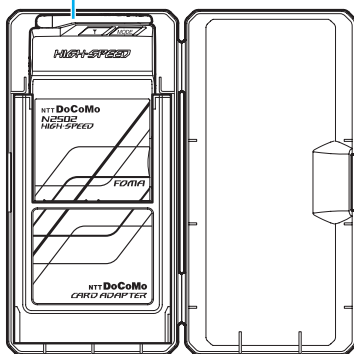
- FOMA N2502 HIGH-SPEED utility (for PC/for PDA)
- FOMA N2502 HIGH-SPEED communication setting file (for PC/for PDA)
- FOMA PC setting software
- FOMA byte counter
- mopera U start up tool
- FirstPass PC software
- Guide to DoCoMo videophone software
- Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED (PDF)



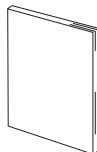
\* The software specifications are subject to change without notice.

\* For Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED, see "N2502\_J\_All.pdf" (Japanese) or "N2502\_E\_All.pdf" (English) under the "Manual" folder in the CD-ROM.

Hold FOMA N2502 HIGH-SPEED on the Carrying case with top side aligned.



### ■ FOMA N2502 HIGH-SPEED取扱説明書 ～接続ガイド～ (Manual for Connection Guide) (this manual)

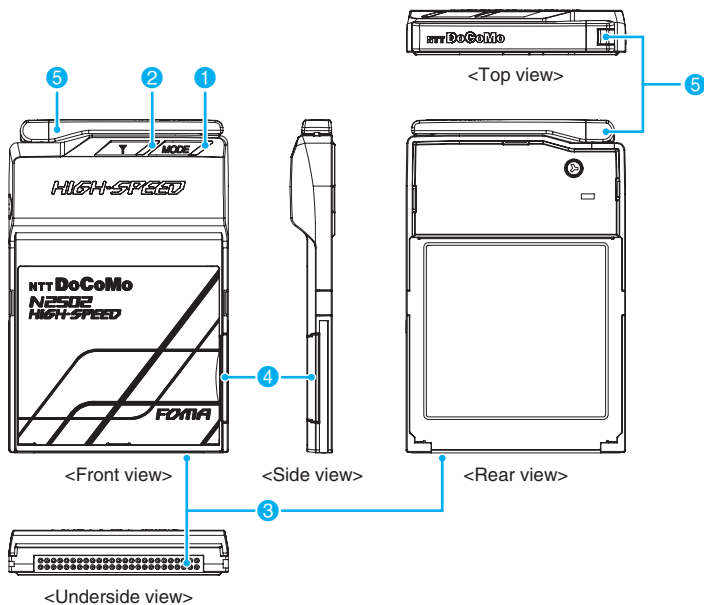




# Before Using the FOMA Terminal

Component Names and Functions .....	14
FOMA Card (UIM).....	16
Communications Available from the FOMA Terminal.....	17
Connecting the FOMA Terminal to a PC.....	19
Connecting the FOMA Terminal to a PDA .....	21

# Component Names and Functions



## 1 Mode lamp

- Displays the FOMA terminal status, etc. → p.15

## 2 Antenna lamp

- Displays signal quality, etc. → p.15

## 3 Compact Flash connector

- Connector to a PC or PC card adapter. → p.19

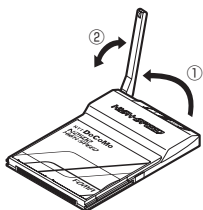
## 4 FOMA card tray

- Attach/Remove a FOMA card. → p.16

## 5 Movable antenna

- Point the antenna up for better communication.

<In communication>



<In carrying on>





# Lamp Indication

## 1 Mode lamp

FOMA Terminal Status		Mode Lamp
Power off/Standby		Off
Packet communication	Sending/Receiving	Green (Blinking A)
	Communicating*	Green (Lighting)
64K data communication	Sending/Receiving	Orange (Blinking A)
	Communicating*	Orange (Lighting)
Videophone communication	Sending/Receiving	Orange (Blinking A)
	Communicating*	Orange (Lighting)
Under dialing restriction		Red (Lights for 2 seconds when dialing)

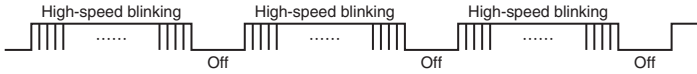
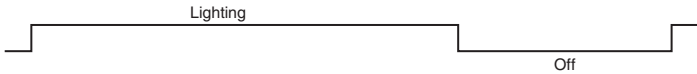
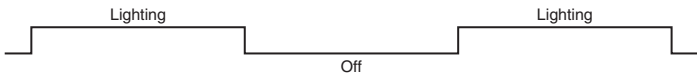
\*: Power saver mode only activates blinking operation while sending/receiving, and the lamp does not light during communication. → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.43

## 2 Antenna lamp

FOMA Terminal Status			Antenna lamp
Power off			Off
Signal quality*	FOMA HIGH-SPEED area	Indicator: 3 bars	Green (Lighting)
		Indicator: 2 bars	Green (Blinking B)
		Indicator: 1/0 bar	Green (Blinking C)
	FOMA area	Indicator: 3 bars	Orange (Lighting)
		Indicator: 2 bars	Orange (Blinking B)
		Indicator: 1/0 bar	Orange (Blinking C)
Out of range			Red (Lighting)
PIN1/PUK entry standby PIN complete lock, FOMA card (UIM) is not inserted, FOMA card (UIM) error, UIM card other than FOMA card is inserted			Red (Blinking C)

\*: Power saver mode does not activate signal quality lighting operation. → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.43

## ■ Blinking Pattern

Pattern	Repetition
Blinking A	Approx. 0.75 sec. high-speed blinking/Approx. 0.25 sec. off 
Blinking B	Approx. 2 sec. lighting/Approx. 1 sec. off 
Blinking C	Approx. 1 sec. lighting/off interval 

## FOMA Card (UIM)

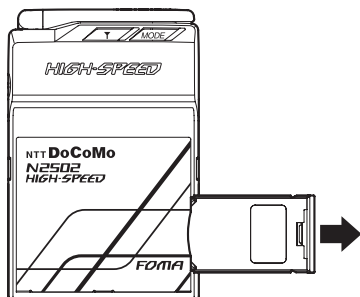
FOMA card is an IC card containing your information such as phone number. Data communication, videophone, etc. are not available without a FOMA card.

For details on FOMA card usage, see the FOMA card Instruction Manual.

### Attaching/Removing a FOMA Card

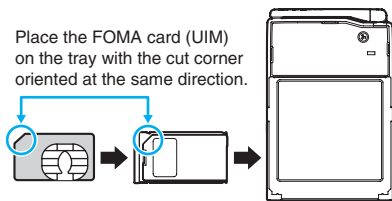
#### Attaching

- 1 Face the FOMA terminal, and pull out the FOMA card tray in the direction of the arrow



- 2 Turn the FOMA terminal over, remove the tray, place the FOMA card on the tray, and insert the tray as shown in the following figure

Place the FOMA card (UIM) on the tray with the cut corner oriented at the same direction.



Insert the tray holding the FOMA card (UIM) in the direction as shown above.

- 3 Firmly push the tray in  
Push in until it clicks.

#### Removing

- 1 Pull out the FOMA card tray (See Step 1 in Attaching)
- 2 Push out the FOMA card (UIM) through the tray hole to remove it



FOMA card tray hole

#### NOTE

- Follow the procedures to attach/remove properly. Excessive force may damage the FOMA card (UIM).
- Do not touch/scratch the IC segment of the FOMA card (UIM).
- Do not lose the removed FOMA card (UIM) and FOMA card tray.

### FOMA Card (UIM) Security Code

2 security codes, PIN1 code and PIN2 code, are set to "0000" at the time of contract.

PIN1 code is a 4-to-8-digit security code to be entered at each power-on to authenticate the user and prevent unauthorized use.

PIN2 code is a 4-to-8-digit security code to be entered when using user certificate, requesting issuance (using FirstPass), etc.

If your FOMA card is set to verify PIN1 code, data communication is not available without verification. Activate FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility to verify PIN1 code, or change the setting to skip verification ("Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.42).

#### ■ PIN1 Code Change

The code can be changed. To prevent unauthorized use, change the code to your liking.

Entering incorrect PIN1 3 times in a row automatically activates PIN lock. Keep a separate record of the code.

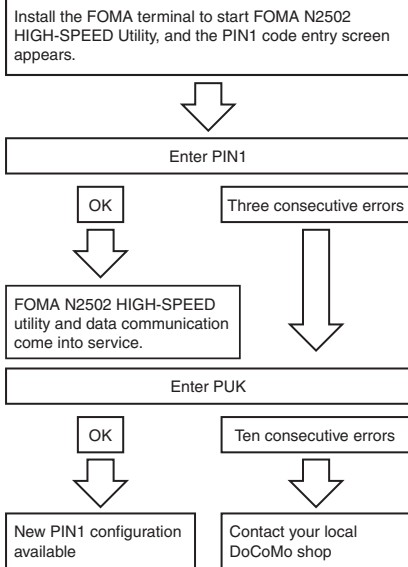
- PIN Code Entry Setting/PIN1 Code Change  
→ "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", pp.42, 43

## ■ PUK Code

PUK code is an 8-digit number to release PIN1 lock. You cannot change the code.

Entering incorrect PUK 10 times in a row activates FOMA card lock. Keep a separate record of the code.

- Releasing PIN Lock → “Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED”, p.42



### NOTE

- PIN2 code cannot be changed on this FOMA terminal. To change PIN2 code, insert your FOMA card (UIM) to a FOMA terminal that can change PIN2 code. For details on PIN2 code change, see Instruction Manual of the FOMA terminal to be used.

## FOMA Card (UIM) Function Difference

The following table shows the function difference between blue FOMA card (UIM) and green/white FOMA card (UIM):

Function	Blue FOMA Card (UIM)	Green/White FOMA Card (UIM)
FirstPass	Unavailable	Available*

\*: This FOMA terminal cannot directly obtain User certificate required for FirstPass. Insert your FOMA card (UIM) to another FirstPass-compatible FOMA terminal, request issuance of User certificate and download, then insert the FOMA card (UIM) to this FOMA terminal. For details on how to obtain User certificate, see Instruction Manual of the FOMA terminal to be used.

## Communications Available from the FOMA Terminal

### Packet Communication/64K Data Communication

#### Packet Communication

FOMA-packet-communication-compatible access points such as DoCoMo Internet connection service “mopera U” enables data communication at up to 7.2 Mbps downlink and up to 384 kbps uplink (best-effort).

- 7.2 Mbps max. or 384 kbps max. does not represent the actual communication speed, but the maximum value on the technical standards.
- The actual communication speed varies depending on the communication environment or network congestion.
- Communication speed varies depending on the access point or signal quality.
- Use FOMA Byte Counter contained in the bundled CD-ROM to check the approximate byte count or usage charge via packet communications. (FOMA Byte Counter is software only for PC, and incompatible with PDA.)
- When using data communication (packet) on PDA, the sending/receiving speed is a maximum of 384 kbps. Incompatible with HIGH-SPEED area communications.
- The communication speed turns to 384 kbps for both uplink and downlink when you are out of the FOMA HIGH-SPEED service area, or even in the service area you connect to the access point including mopera to which the high-speed is not supported.

## 64K Data Communication

Communications charges apply according to the connection time regardless of the data size. Use FOMA-64K-data-communication-compatible access points such as DoCoMo's Internet connection service "mopera U" to send/receive data at 64 kbps max.

- DoCoMo's Internet connection service "mopera" is also available.

## Notes on Use

### Internet Service Provider (ISP) Charges

To use the Internet, Internet Service Provider (ISP) charges may apply. Pay the charges to the ISP separately from FOMA service charges. For details on the charges, contact the ISP.

DoCoMo's Internet connection services "mopera U"/"mopera" are available. "mopera U" requires a subscription and is a fee-based service. "mopera" does not require a subscription or monthly fee.

### Access Point (ISP, etc.) Settings

Access points differ between packet communication and 64K data communication. Use FOMA-packet-communication-compatible access points for packet communications, and FOMA-64K-data-communication-compatible or ISDN-synchronous-64K-compatible access points for 64K data communications.

- DoPa access points are not available.

### User Authentication for Network Access

ID and Password may be required for user authentication depending on the access point. Enter ID and Password with communication software (dial-up network). ISP or network administrator provides you with ID and Password. For details, contact the provider or administrator.

## Access Authentication for Browser Use

FirstPass (user certificate\*) is required for access authentication when using FirstPass-compatible sites. Install and set up "FirstPass PC Software" from the bundled CD-ROM. For details, see "FirstPassManual" (PDF) under the "FirstPassPCSoft" folder in the CD-ROM. To view "FirstPassManual", Adobe® Reader® (version 6.0 or later recommended) is required. You can download the latest version from the website of Adobe Systems Incorporated. (Separate communication charges will be applied.) For details, visit the Adobe Systems Incorporated website.

\*: This FOMA terminal cannot directly obtain User certificate required for FirstPass. Insert your FOMA card (UIM) to another FirstPass-compatible FOMA terminal, request issuance of User certificate and download, then insert the FOMA card (UIM) to this FOMA terminal. For details on how to obtain User certificate, see Instruction Manual of the FOMA terminal to be used.

## Packet Communication/64K Data Communication Conditions

The following conditions apply for FOMA communications. Even if the conditions are met, communications may not be possible due to base station congestion or low signal quality.

- In the FOMA service area
- Access point compatible with FOMA packet communication in case of packet communication
- Access point compatible with FOMA 64K data communication or ISDN synchronous 64K in case of 64K data communication

## Videophone

Communications charges apply according to the connection time. Calls can be made between mobile phones compatible with DoCoMo's Videophone (compliant with the 3G-324M<sup>2</sup> international standard established by the 3GPP<sup>1</sup>).

\*1 : 3GPP (3rd Generation Partnership Project) is a collaboration agreement that was established to develop globally applicable technical specifications for 3rd generation mobile communications systems (IMT-2000).  
\*2 : 3G-324M is an international standard for 3rd generation mobile videophone.

- Connections cannot be made if the other party's phone is incompatible with DoCoMo's Videophone or out of range/turned off.
- There are 2 videophone communication speeds: 64K (64 kbps) and 32K (32 kbps). 32K videophone is not available on this FOMA terminal.
- To use videophone, compatible application and commercially-available devices such as USB Web camera, earphone and microphone are required.
- Connect compatible devices such as earphone and microphone to corresponding terminals on a PC.

### NOTE

- Videophone communications charges refer to digital communications charges.
- For details on how to use compatible applications and devices, see individual Instruction Manual.
- “ドコモテレビ電話ソフト” (DoCoMo Videophone Software) (Japanese) is available as a compatible application. Download it from the website for DoCoMo videophone software. For details about the operating environment including recommended PC specifications, check the website for DoCoMo videophone software:  
<http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/>

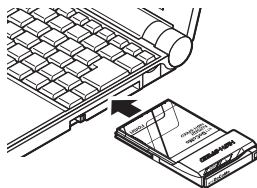
## Connecting the FOMA Terminal to a PC

### Connecting

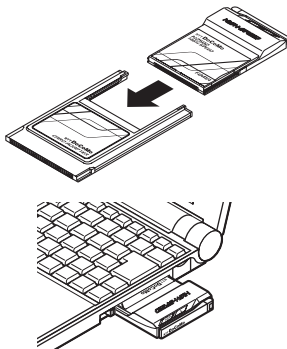
Communication setting file (driver) must be installed before connecting the FOMA terminal to a PC for the first time. For communication setting file (driver) installation, see “Installing Communication Setting File (Driver)” (p.26).

- 1 Turn on a PC**
- 2 Face the FOMA terminal label up, insert into the PC CF card slot straight or attach the bundled PC card adapter then insert into the PC card slot straight**

#### ■ To insert into CF card slot



#### ■ To insert into PC card slot



- The location and insertion direction of CF card slot or PC card slot vary depending on the PC.
- Insert fully into CF card slot or PC card slot.
- Insertion may be difficult depending on the PC.

### 3 Click the task tray icon on the desktop

#### ■ Windows Vista



#### ■ Windows XP



#### ■ Windows 2000



- If “FOMA N2502 HIGH-SPEED を安全に取り外します” (Safely Remove FOMA N2502 HIGH-SPEED), etc. appears, the FOMA terminal is properly recognized.
- If no message appears even after a while, turn off the PC, check the connection and try again.

#### NOTE

- If the PC returned to hibernation/standby mode, etc. with the FOMA terminal inserted, do not remove the FOMA terminal.
- To carry or not use the FOMA terminal, remove from the PC and place in the Carrying case for FOMA N2502 HIGH-SPEED.
- Do not hold the exposed part firmly with the FOMA terminal inserted in the PC. Doing so may cause injury, malfunction or damage.
- Be aware of battery life when using battery drive to run the PC. The FOMA terminal performance will be unstable with low battery.

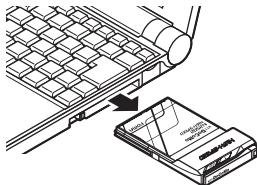
## Removing

Confirm that the communication line is disconnected.

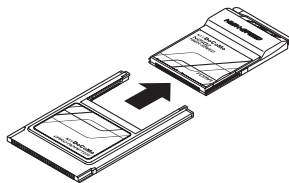
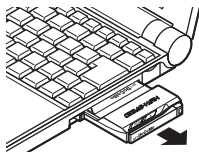
1 Click the task tray icon → “FOMA N2502 HIGH-SPEED を安全に取り外します” (Safely Remove FOMA N2502 HIGH-SPEED), etc.

2 Confirm the message that the PC card can be removed, then remove the FOMA terminal from the PC

#### ■ From CF card slot



#### ■ From PC card slot



- Follow the PC's User Guide instructions about remove operation (e.g. by pressing the eject button).
- The FOMA terminal's metal part may be hot. Hold around the antenna sides and remove the FOMA terminal. Removal may be difficult depending on the PC.

#### NOTE

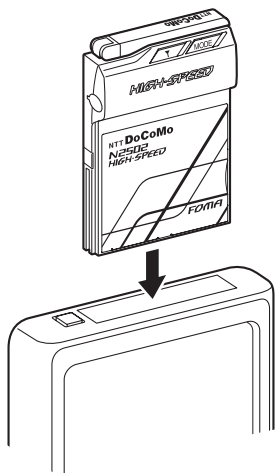
- Keep the removed FOMA terminal in the Carrying case for FOMA N2502 HIGH-SPEED.
- The removed and immediately reattached FOMA terminal may not be properly recognized. Wait for about 3 seconds to reattach. If not recognized, remove and attach again.

## Connecting the FOMA Terminal to a PDA

### Connecting

Communication setting file (driver) must be installed before connecting the FOMA terminal to a PDA for the first time. For communication setting file (driver) installation, see "Installing Communication Setting File (Driver) on PDA" (p.31).

- 1 Turn on a PDA
- 2 Check the FOMA terminal direction and insert straight into PDA CF card slot



- The location and insertion direction of CF card slot vary depending on the PDA.
- Insert fully into CF card slot.
- Insertion may be difficult depending on the PDA.
- For PDA usage, etc., see the PDA's User Guide.

### Removing

Confirm that the communication line is disconnected, and follow the PDA's User Guide instructions.





# Setting Up

## ■ Before Setting Up

Setting Up .....	24
------------------	----

## ■ Usage on PC

Installing Communication Setting File (Driver).....	26
---	----

## ■ Usage on PDA

Installing Communication Setting File (Driver) on PDA .....	31
---	----

# Setting Up

Setting up procedure is different between the ones on PC and PDA. See the individual setup flow suited to the device you use.

## Setup Flow for PC

Install the following applications from the bundled CD-ROM.

- If your PC is not equipped with CD-ROM drive or if there is only one PC card slot and an external CD-ROM drive is connected there, copy the CD-ROM contents to the hard disk, then start setup.

### Install Communication Setting File (Driver)

Install software for a PC to recognize the FOMA terminal.

- On Windows Vista → p.27
- On Windows XP → p.28
- On Windows 2000 → p.28
- "Verifying Installed Communication Setting File (Driver)" → p.29

### Installing FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility

Install software to check the FOMA terminal status or configure settings.

- "Installing FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility" → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.32

<To set up connections using FOMA PC setting software>

<Without FOMA PC setting software>

### Install FOMA PC Setting Software

Install software to easily set up packet communication/64K data communication.

- "Installing FOMA PC Setting Software" → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.48

<Packet communication>

<64K data communication>

### Set Up

- mopera U, mopera → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.54
- Other providers → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.58

### Set Up

- mopera U, mopera → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.64
- Other providers → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.66

### Set Up

- Set up communications without FOMA PC setting software. → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.76

### Connect/Disconnect

- Connect. → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.70
- Disconnect. → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.71

### Connect/Disconnect

- Connect. → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.86
- Disconnect. → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.88

## Checking PC Operating Environment

PC operating environment to use the FOMA terminal:

Item	Required Environment
PC	Card slot compatible with CF (TYPE II ) or PC card (TYPE II )
Operating System	Windows Vista Japanese version Windows XP Japanese version with Service Pack 2 or later Windows 2000 Japanese version with Service Pack 4 or later
Memory	Windows Vista: 1 GB or more recommended Windows XP: 512 MB or more recommended Windows 2000: 256 MB or more recommended
Hard Disk	20 MB or more available space

### NOTE

- Required memory and hard disk available space may vary depending on the system environment.
- May be unusable depending on the operating environment. DoCoMo does not guarantee operation in environments other than the above.
- Operation is not guaranteed on upgraded Operating Systems even if compatible.

## Setup Flow for PDA

To set up the FOMA terminal on a PDA, install required software using a PC where ActiveSync and Windows Mobile Device Center are installed. Install applications from the bundled CD-ROM.

- If your PC is not equipped with CD-ROM drive or if there is only one PC card slot and an external CD-ROM drive is connected there, copy the CD-ROM contents to the hard disk, then start setup.
- The synchronization software varies depending on the Operating System.  
Use ActiveSync 4.5 or higher on Windows XP/2000, and Windows Mobile Device Center 6.0 or higher on Windows Vista.

### Install PDA Software Communication Setting File (Driver)

Install software to recognize the FOMA terminal on a PDA.

- Windows Vista → p.31 \* Using sigmarion III on Windows Vista → p.32
- Windows XP/Windows 2000 → p.32

### Install PDA Software FOMA N2502 HIGH-SPEED Utility

Install software to check the FOMA terminal status or configure settings.

- "Installing Various Software" → "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.95

<Packet communication>

### Create Dial-up Setting Profile

Configure packet communication settings.

- "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.101

<64K data communication>

### Create Dial-up Setting Profile

Configure 64K data communication settings.

- "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED", p.103

### Connect

Access the Internet.

## Checking PDA Operating Environment

PDA operating environment to use the FOMA terminal:

- Some models do not support FOMA N2502 HIGH-SPEED.
- For the latest corresponding models, see DoCoMo website (<http://www.nttdocomo.co.jp>).

Item	Required Environment
PDA	PDA and sigmarion III having CF (TYPE II ) compatible card slots and running the following operating systems
Operating System	Windows CE .NET 4.1 Japanese version Windows Mobile 5.0 Japanese version

### NOTE

- Set up using the FOMA terminal-compatible Windows PC where ActiveSync and Windows Mobile Device Center are installed. For details on ActiveSync/Windows Mobile Device Center operations and settings, contact Microsoft.
- If the battery is low, the setup may not complete successfully. Connect the AC adapter or complete charging then perform setup.

## Installing Communication Setting File (Driver)

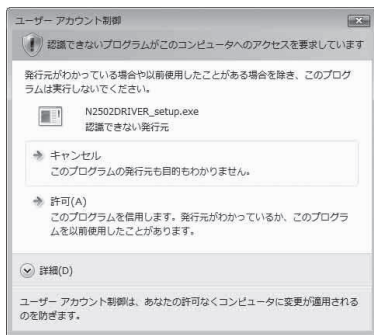
Communication setting file (driver) is installed only the first time the FOMA terminal is connected to a PC.

### Installing

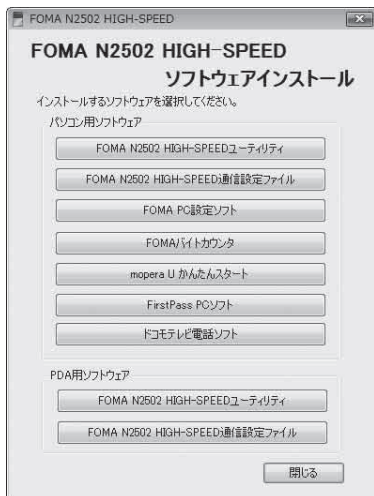
- Remove the FOMA terminal from the PC beforehand.
- Log on as the Administrator or a user with administrative privileges. A user without administrative privileges makes an error. For administrative settings, etc., contact PC manufacturer or Microsoft.
- Before installation, exit running or resident applications.
- Installation/Check procedures vary depending on the Operating System. See instructions for each Operating System.

## ● On Windows Vista

- The “ユーザーアカウント制御” (User Account Control) dialog box may appear depending on the setting. When it appears, click “許可 (A)” (Allow).



- 1 Start Windows and set the bundled CD-ROM
- 2 Click “FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル” under “パソコン用ソフトウェア” (PC Software: FOMA N2502 HIGH-SPEED Communication Setting File)



## 3 Click “次へ” (Next)



## 4 Click “次へ” (Next)



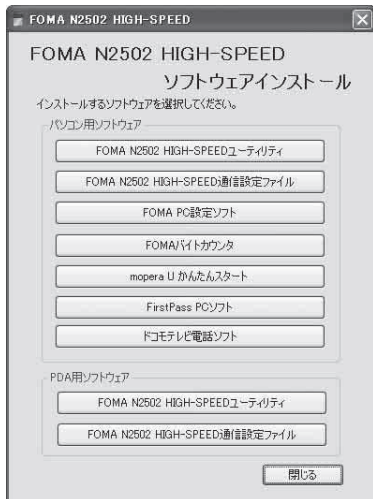
On Windows Vista 64-bit version, the driver will be installed into the following folder:  
C:\Program Files(x86)\FOMA\_N2502\DRIVER

## 5 Click “完了” (Finish)

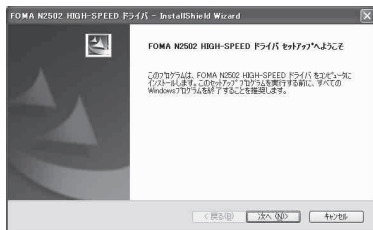


- 6 Connect the FOMA terminal to the PC  
Installation automatically starts. “デバイスドライバソフトウェアをインストールしています” (Installing device driver software) and then “デバイスを使用する準備ができました” (Your devices are ready to use) appear in the task tray. Installation is complete.

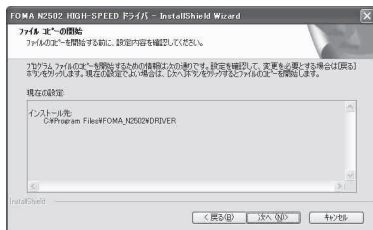
- 1 Start Windows and set the bundled CD-ROM
- 2 Click “FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル” under “パソコン用ソフトウェア” (PC Software: FOMA N2502 HIGH-SPEED Communication Setting File)



- 3 Click “次へ” (Next)



- 4 Click “次へ” (Next)

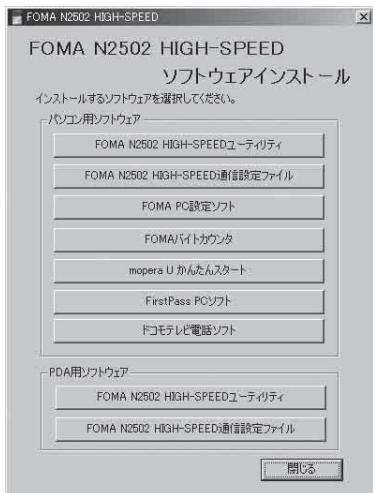


- 5 Click “完了” (Finish)



- 6 Connect the FOMA terminal to the PC. Installation automatically starts and is complete after a while.

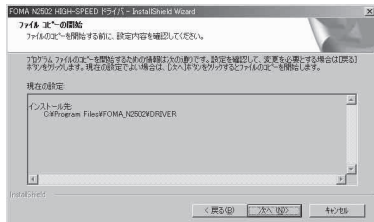
- 1 Start Windows and set the bundled CD-ROM
- 2 Click “FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル” under “パソコン用ソフトウェア” (PC Software: FOMA N2502 HIGH-SPEED Communication Setting File)



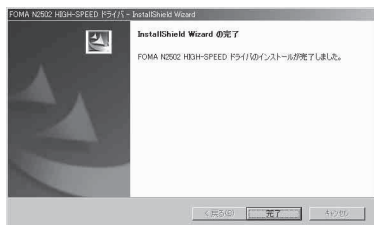
## 3 Click “次へ” (Next)



## 4 Click “次へ” (Next)



## 5 Click “完了” (Finish)



## 6 Connect the FOMA terminal to the PC Installation automatically starts and is complete after a while.

## Verifying Installed Communication Setting File (Driver)

Verify that the FOMA N2502 HIGH-SPEED communication setting file (driver) is properly installed.

### On Windows Vista

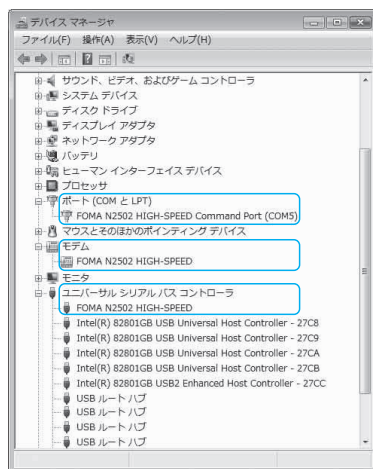
- The “ユーザーアカウント制御” (User Account Control) dialog box may appear depending on the setting. When it appears, click “許可 (A)” (Allow) or “続行 (C)” (Continue).

### 1 Select “” → “コントロールパネル” (Control Panel) → “システムとメンテナンス” (System & Maintenance)

### 2 Click “デバイスマネージャ” (Device Manager)

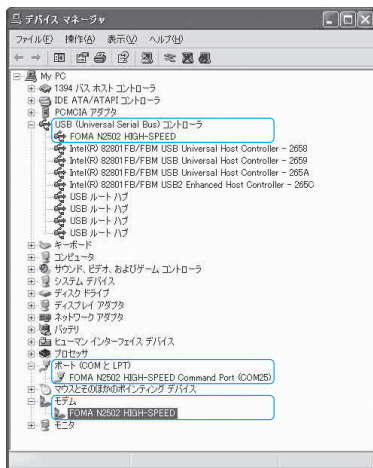
### 3 Click each device and verify installed driver

- Verify installed driver names.



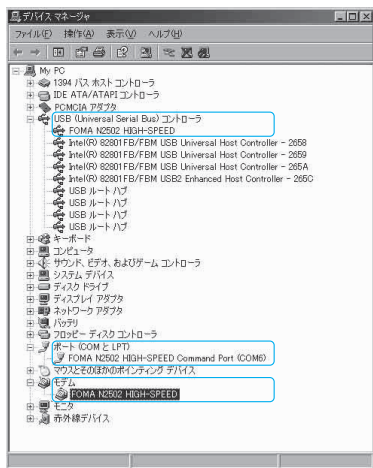
## ● On Windows XP

- 1 Select “スタート” (Start) → “コントロールパネル” (Control Panel) → “パフォーマンスとメンテナンス” (Performance & Maintenance) → “システム” (System)
- 2 Click “ハードウェア” (Hardware) tab → “デバイスマネージャ” (Device Manager)
- 3 Click each device and verify installed driver
  - Verify installed driver names.



## ● On Windows 2000

- 1 Select “スタート” (Start) → “設定” (Settings) → “コントロールパネル” (Control Panel), then double-click “システム” (System)
- 2 Click “ハードウェア” (Hardware) tab → “デバイスマネージャ” (Device Manager)
- 3 Click each device and verify installed driver
  - Verify installed driver names.



## ● Installed Driver Name List

Device	Driver
ユニバーサルシリアルバス コントローラ or USB (Universal Serial Bus) コ ントローラ (Universal Serial Bus Controller/USB Controller)	FOMA N2502 HIGH- SPEED
ポート (COMとLPT) (Port (COM & LPT))	FOMA N2502 HIGH- SPEED Command Port
モデム (Modem)	FOMA N2502 HIGH- SPEED

### NOTE

- COM Port No. varies depending on the PC.



## NOTE

- To continue setting up connections, proceed to the following:  
To set up connections using FOMA PC setting software → “Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED”, p.46  
To set up connections without FOMA PC setting software → “Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED”, p.76
- If some driver names do not appear after verifying communication setting file (driver), follow the “Uninstalling” procedure to uninstall N2502 HIGH-SPEED communication setting file (driver), then reinstall.

## Uninstalling

This section describes the operations for uninstalling “FOMA N2502 HIGH-SPEED communication setting file (driver)”.

- Remove the FOMA terminal from the PC beforehand.
- Log on as the Administrator or a user with administrative privileges. A user without administrative privileges makes an error. For administrative settings, etc., contact PC manufacturer or Microsoft.
- For details on uninstallation, see “Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED”, p.29.

## Installing Communication Setting File (Driver) on PDA

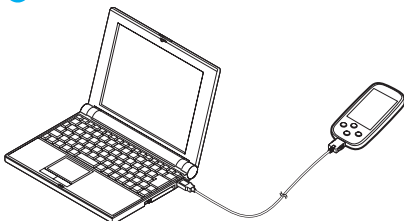
## Installing

- Before installation, do not connect the FOMA terminal to the PDA.
- Before installation, verify that the PC's and PDA's batteries are fully charged. If the battery is low, ensure a stable power supply such as AC power.
- Before installing the N2502 software, connect the PDA to the PC and install required software.
- For connection between the PC and PDA or PDA operation, see the PDA's User Guide.

## On Windows Vista

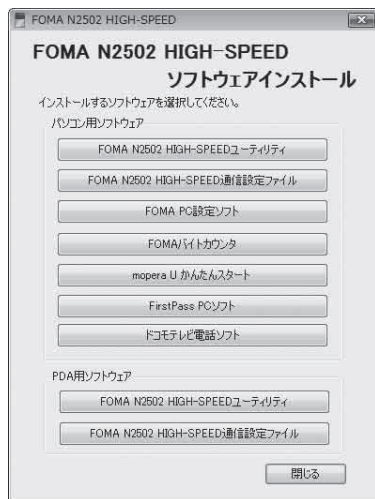
- sigmarion III does not support Windows Mobile Device Center and installation procedures vary. See “Using sigmarion III on Windows Vista” (p.32) for sigmarion III.

### 1 Connecting the PDA to a PC

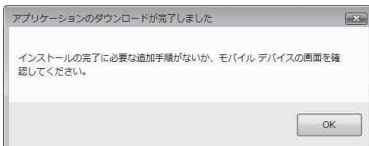


### 2 Start Windows and set the bundled CD-ROM

- 3 Click “FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル” under “PDA用ソフトウェア” (PDA Software: FOMA N2502 HIGH-SPEED Communication Setting File)  
Required files are installed from the PC to the PDA.



#### 4 Click "OK"

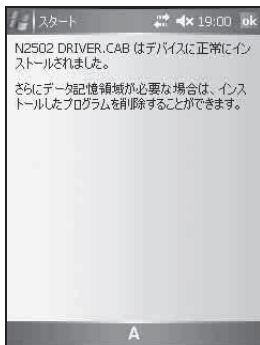


The message “このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか？” (This program is from an unknown publisher. You should install it only if you trust its publisher. Do you want to continue?) may appear on the PDA. Tap “はい” (Yes).

#### 5 Tap "OK" on the PDA



#### 6 Tap "OK" on the PDA



#### 7 Remove the PDA from the PC

#### 8 Soft-reset (restart) the PDA

The N2502 HIGH-SPEED communication setting file (driver) installation is complete. Install the FOMA terminal into the CF card slot after resetting (restarting) PDA.

## Using sigmarion III on Windows Vista

- Connect sigmarion III to a PC.

### ■ Installing the communication setting file (driver)

- Copy the installation file for the communication setting file (driver) from PC to sigmarion III.

Copy source:

“N2502DRIVER.CE.CAB” under “PDA” → “PDAInstall” → “Driver” folder in the bundled CD-ROM

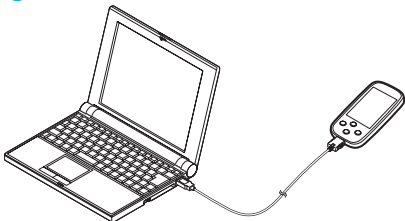
Copy destination folder:

“C:” → “コンピュータ” (Computer) → “ポータブルデバイス” (Portable Device) → “WindowsCE” → “\*” → “My Documents” folder

- On sigmarion III, double-tap the copied “N2502DRIVER.CE.CAB” under the “My Documents” folder.  
→ Keep the destination unchanged and tap “OK” → “OK”.
- Remove the sigmarion III from the PC and soft-reset (restart) the sigmarion III.

## ● On Windows XP/Windows 2000

### 1 Connecting the PDA to a PC

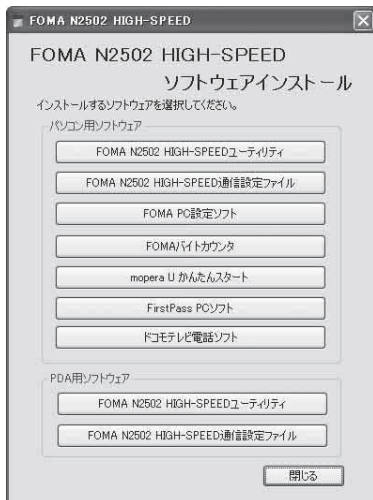


### 2 Start Windows and set the bundled CD-ROM

**3** Click “FOMA N2502 HIGH-SPEED通信設定ファイル” under “PDA用ソフトウェア” (PDA Software: FOMA N2502 HIGH-SPEED Communication Setting File)

Required files are installed from the PC to the PDA.

sigmarion III shows the message “既定のアプリケーションセットアップディレクトリに “N2502 DRIVER” をインストールしますか？” (Install “N2502 DRIVER” into the default directory for setting application?). Be sure to click “はい” (Yes).



**4** Click “OK”

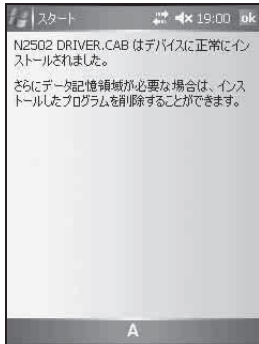


The message “このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか？” (This program is from an unknown publisher. You should install it only if you trust its publisher. Do you want to continue?) may appear on the PDA. Tap “はい” (Yes).

**5** Tap “OK” on the PDA



**6** Tap “OK” on the PDA



**7** Remove the PDA from the PC

**8** Soft-reset (restart) the PDA

The N2502 HIGH-SPEED communication setting file (driver) installation is complete. Install the FOMA terminal into the CF card slot after resetting (restarting) PDA.

## Uninstalling

This section describes the operations for uninstalling “FOMA N2502 HIGH-SPEED communication setting file (driver)”. To uninstall software from the PDA, use ActiveSync and Windows Mobile Device Center on a PC used to install the software.

- Remove the FOMA terminal from the PDA beforehand.
- For details on uninstallation, see “Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED”, p.116.



# Appendix

Contents of the CD-ROM.....	36
Malfunction Checklist.....	37
If Any Error Message Appears.....	38
Glossary .....	39
Warranty and After-Sales Service .....	41
Export Administration Regulations .....	42
Main Specifications.....	43
Index .....	45

# Contents of the CD-ROM

The attached CD-ROM contains the following utilities.

File name	Prospectus
FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ (FOMA N2502 HIGH-SPEED utility)	Software to check the FOMA terminal status or set up the relevant communication.
FOMA N2502 HIGH-SPEED 通信設定ファイル (FOMA N2502 HIGH-SPEED communication setting file)	Software to recognize the FOMA terminal to PC for use.
FOMA PC 設定ソフト (FOMA PC setting software)	Software to easily set up the dial-up connection for the packet or 64K data communications.
FOMA バイトカウンタ (FOMA byte counter)	Software to roughly confirm the byte amounts or usage charges used in transmission through the packet communication.
mopera U かんたんスタート (mopera U start up tool)	Software to easily make necessary configuration for using the mopera U service.
FirstPass PCソフト (FirstPass PC software)	Software necessary for accessing the website supporting FirstPass, the digital certificate service presented by DoCoMo. ● For details of installation or software usage, check "FirstPassManual" (PDF) (Japanese) under the "FirstPassPCSoft" folder in the CD-ROM.
ドコモテレビ電話ソフトのご案内 (Guide to DoCoMo videophone software)	Introduction to software that enables a videophone call on PC combining the FOMA terminal with PC.
Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED	Documents describing the techniques such as the communication configuration using FOMA PC setting software and the operation of FOMA N2502 HIGH-SPEED ユーティリティ (FOMA N2502 HIGH-SPEED utility). ● See "N2502_J_All.pdf" (Japanese) or "N2502_E_All.pdf" (English) under the "Manual" folder in the CD-ROM.

## NOTE

- For FOMA PC setting software, FirstPass PC software, mopera U start up tool and FOMA byte counter, the following URL is also available for download:  
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/index.html> (Japanese)
- To read "Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED" or "FirstPassManual" (Japanese), Adobe® Reader® (version 6.0 or later recommended) is required. You can download the latest version from the website of Adobe Systems Incorporated. For details, visit the Adobe Systems Incorporated website.
- The software specifications are subject to change without notice. Check the DoCoMo website for the latest software.

# Malfunction Checklist

- When the reference is described as “Manual”, refer to “Manual for FOMA N2502 HIGH-SPEED” contained in the attached CD-ROM.

## ■ The FOMA terminal is not recognized

Symptom	Check	Page
No recognition of the FOMA terminal	Re-insert the FOMA terminal all the way into the PC card slot securely.	p.19
	Verify that the Communication setting file (driver) properly functions in the FOMA terminal.	p.29
	Remove the FOMA terminal once and reinstall it. Still, if it may not be recognized, remove the FOMA terminal and reinstall it after restarting PC.	—

## ■ Trouble in communication

Symptom	Check	Page
Communication unavailable	Verify that a signal is reached in the service area.	p.15, “Manual” p.37
	Caller ID setting is different from the provider to be used, communication may fail. Right-click on the created icon to be connected for the dial up network, then right-click “プロパティ (Properties)”, and confirm “184” or “186” appended to the phone number. If the different specification is made, correct it.	“Manual” pp.39, 70
	Check if “PIN1コード照合 (PIN1 code check)” is set to “照合する (Yes)”. If setting to “照合する (Yes)”, you cannot dial directly. Start the FOMA N2502 HIGH-SPEED utility and check PIN1 code.	“Manual” p.42
	Check the property of the modem and APN setting.	“Manual” pp.75, 78
	Check validation for the access point (phone number) of the destination or communication system (packet or 64K communication).	“Manual” pp.53, 76
	If you activate the DoCoMo videophone software or resident it on the task tray, terminate it.	—
	Remove the FOMA terminal once and reinstall it. However, communication may still fail, remove the FOMA terminal and reinstall it after restarting PC.	—
Internet connection unavailable	Check that the user name or password at the logon time is input according to the provider information you use.	“Manual” pp.53, 76
Disconnect instantly	Destination may be busy. Try connection again after a while.	—
	When you use the terminal in the place with the weak signal, move to the place where the antenna lamp turns to light up in green or orange.	p.15

## ■ Trouble in AT command

Symptom	Check	Page
“ERROR” appears after the command is input.	Check that the proper command is input.	“Manual” p.121
	Check the property of the terminal software for incorrect selection of the other device than the FOMA terminal.	—

Symptom	Check	Page
"OK" does not appear even if an AT command is input.	Verify that the Communication setting file (driver) properly functions in the FOMA terminal.	p.29
	Check the command for beginning with AT or at character or case sensitive.	"Manual" p.120
	Try to Input ATE1 command.	"Manual" p.126
Unavailable for inputting AT command	If you activate the DoCoMo videophone software or resident it on the task tray, terminate it.	—

## ■ Other trouble

Symptom	Check	Page
Redial is not possible	64K data communication or videophone call communication does not allow to send data to the same destination for the second time in a row when no response returns from there. Wait for a while, and resend it.	—
Status indication lamp does not light up	Check "省電力モード (Power save mode)" for invalid.	"Manual" p.43
The terminal stopped working suddenly.	Check that the FOMA card (UIM) is properly installed.	p.16
	Remove the FOMA terminal once and reinstall it. Still, if it may not work, remove the FOMA terminal and reinstall it after restarting PC.	—
	PC environment may have changed because of installing the peripheral device or other software. Reinstall the communication setting file (driver) after uninstall it.	p.26
Hardware detection is not performed even though you install the FOMA terminal into the PC card slot on the installation procedure of the communication setting file (driver).	Restart the PC with the FOMA terminal installed into the PC card slot.	—

## If Any Error Message Appears

The following shows the major error messages appearing when using the FOMA N2502 HIGH-SPEED utility.

Error Message	Description/Countermeasure	Page
端末と正常に通信できませんでした (Normal communication was not possible with the terminal)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● If the other terminal than FOMA N2502 HIGH-SPEED is connected, communication is not available.</li> <li>● If the FOMA card is damaged, communication is not possible with it.</li> <li>● The terminal setting property could not be acquired. Try again.</li> </ul>	— — —
モデムポートが利用できません (The modem port is not available) モデムが他で使用していないか確認してください (Check that the modem port is in use on the other communication)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The modem port is not available. Check that the modem port is in use on the other communication.</li> </ul>	—
PIN1 コードが認識できませんでした (PIN1 code failed to be recognized)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The wrong PIN1 code is entered. Enter the correct one.</li> </ul>	p.16
PIN1 コードがロックされました (PIN1 code was locked)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The terminal turned into PIN lock state because the wrong PIN1 code is entered at the number of default times. Enter the PUK code (eight digits numeric).</li> </ul>	p.17, "Manual" p.42



Error Message	Description/Countermeasure	Page
PINロック解除コードが認識できませんでした (PUK code failed to be recognized)	● The wrong PUK code was entered. Enter the correct PUK code.	p.17, "Manual" p.42
PINロック解除コードがロックされました (PUK code was locked)	● The FOMA card was completely locked because the wrong PUK code was entered at the number of default times or more. Contact your local DoCoMo representatives.	p.17
FOMAカード (UIM) を挿入してください (Insert the FOMA card (UIM))	● The FOMA card is not installed in the FOMA terminal. Try again after the card is installed.	p.16
この名前の接続は既に存在します (The connection name already exists) 他の名前を入力してください (Enter the different name)	● There already exists the same name for the dial up entry. Create the different dial up entry (Only in the case of PDA).	—

## Glossary

### A

#### Access point

A link-up point to be connected to the Internet. The Internet connection is available from PC, etc. via an access point using a telephone line.

#### Administrative privileges

Access rights that allow access to the operating system of Windows Vista, Windows XP or Windows 2000. A user without administrative privileges cannot install or uninstall the communication setting file (Driver) or the FOMA PC setting software.

#### APN

Short for Access Point Name, and the destination name (Internet service provider, etc.) for the packet communication. For example, "mopera U" (Internet connection service provided by DoCoMo) is indicated as "mopera.net".

### B

#### bps

Short for bit per second, and a unit to indicate the data communication speed. It indicates the number of transmitted bits per one second.

### C

#### cid

Short for Context Identifier, and a registration number when saving the destination (APN) for the packet communication to the FOMA terminal.

The FOMA terminal can contain up to 10 APNs.

### D

#### Dial-up

Connecting to a network via a telephone connection

#### DNS

Short for Domain Name System. The conversion system from an understandable domain name such as "nttdocomo.co.jp" into a numerical IP address for managing by the computer.

### H

#### HSDPA

Short for High Speed Downlink packet Access. It is an improvement on W-CDMA, the global standard, with a higher packet communication speed. In the FOMA High-Speed area, high speed packet communication is available at up to 7.2 Mbps downlink.

## ■ I

### ID

A number to manage user information. ID is issued when you register as a new user.

### Install

Copying the external data contained in CD, etc. onto PC so that the data can be utilized

### IP

Short for Internet Protocol, and communication specifications used over the Internet as standard

### IP address

An address that identifies the device connected to the Internet. Normally, it is expressed as four-digit numbers (0 to 255) separated with a period as "XXX.XXX.XXX.XXX", and is assigned to every device connected to the Internet.

### ISDN

Short for Integrated Service Digital network, and a comprehensive digital communication network. Enables faster communication speed than an analog telephone line.

## ■ M

### Modem

A device that allows PC to communicate via a telephone connection

## ■ P

### Packet communication

Communication mode to transmit data divided into small packages on the network. This strategy improves transmission efficiency over the network by cutting in transmitted data with different data or dividing into small size of data for communication.

### Port

An auxiliary address attached under an IP address to communicate with multiple parties at the same time over the Internet. Specifying a port uses numeric from 0 to 65535 which is called the "Port Number".

### Properties

"Attributes" or "configurations" of Windows files or icons. Select and right-click an icon to look-up or change properties.

### Protocol

Communication specifications used to exchange data between PCs

## ■ Q

### QoS

Short for Quality of Service, and the service quality of network. Specifying the data communication speed is available in the FOMA terminal QoS setting. (Connection speed varies depending on the communication condition.)

## ■ U

### Uninstall

Deleting the downloaded external data from PC

### Utility

Software that improves utilization of the FOMA terminal by providing various auxiliary functions

## ■ W

### W-CDMA

Short for Wideband Code division Multiple Access, and the 3rd generation mobile communication system (IMT-2000) certified as global standards. This is wideband code division multiple access and one of the multiple access systems for wireless communications.

The FOMA terminal complies with W-CDMA standards.

# Warranty and After-Sales Service

## Warranty

- Make sure that the warranty card is included with your FOMA terminal at the time of purchase. Check the contents, the information about "the shop or date of purchase", etc. and keep the card in a safe place. If the card does not contain necessary information, immediately contact the shop and request them to fill in the card. The warranty period is one year from the date of purchase. The warranty period is one year from the date of purchase.
- The whole or part of the product, including its accessories, is subject to improvement without notice.

## After-sales service

### ● If you have problems with your FOMA terminal

Before having your FOMA terminal repaired, see the "Malfunction Checklist" in this manual. If you still have problems, call at the technical inquiries number described on the back of the manual.

### ● If repairs are needed as a result of contacting DoCoMo

Take your FOMA terminal to a DoCoMo designated repair shop. The repair shop is only open during business hours. Remember to take your warranty card with you.

### ■ During the warranty period

- The FOMA terminal will be repaired free of charge in accordance with our written warranty policy.
- Make sure to take the warranty card with you when having your FOMA terminal repaired. Even during the warranty period, a charge will be made for the repair if you cannot show the warranty card or if the malfunction or damage has resulted from improper use.
- Even during the warranty period, a charge will be made for the repair if the malfunction has resulted from the use of devices or consumables that are not specified by NTT DoCoMo.
- A charge will be made for repairs in the event of damage to the connectors after purchase.

### ■ The FOMA terminal may not be able to be repaired

The FOMA terminal may be unable to be repaired if the water reaction is found on the seal, if corrosion is found to result from water exposure, condensation or perspiration, or if the internal board is damaged or deformed. Even if the FOMA terminal can be repaired, a charge will be made as the repair is not under warranty.

### ■ After the warranty period has expired

You can request to have your FOMA terminal repaired, although a charge will be made for the repair.

### ■ Stock period of parts

Replacement parts (required for maintaining the functionality of the FOMA terminal) will be kept in stock basically for minimum of 6 years following the termination of production. However, the FOMA terminal may not be able to be repaired due to the lack of parts depending on the damaged parts. The repair may still be able to be performed even after the stock period has expired. Call at the technical inquiries number described on the back of the manual.

### Important

- Do not attempt to adapt the FOMA terminal or its accessories by yourself.
  - Doing so may cause fire, injury or malfunction.
  - Repairs to damage caused by modifications to the terminal will be accepted on the condition that the customer agrees to the said modifications being restored to their original condition. We reserve the right to reject your repair request, depending on the type of modification. The following will be deemed to be modifications:
    - Decorations to the FOMA terminal involving the use of adhesives.
    - Replacement of the exterior etc. of the terminal with non-DoCoMo components.
  - Even during the warranty period, a charge will be made for the repair if the malfunction or damage has resulted from modification.
- Do not peel off the model name seal attached to the FOMA terminal. The model name seal plays the part of the certificate verifying that the FOMA terminal complies with the technical standard. If the seal cannot be confirmed because it has been peeled off or replaced, the conformity to the technical standard cannot be judged, and then the repair may be unable to be accepted.
- The settings of the functions or the information about total call time may be cleared (reset) due to the damage, repair or improper use of the FOMA terminal. In this case, specify the settings again.
- If your FOMA terminal gets wet or moist, immediately turn it off, remove the battery pack, and take the FOMA terminal to the repair shop as soon as possible. Note that the FOMA terminal may be unable to be repaired depending on the condition.

## Export Administration Regulations

This product and its accessories may be subject to the Japan Export Administration Regulations (the "Foreign Exchange and Foreign Trade Law" and its related regulations), or is subject to the Export Administration Regulations.

When exporting this product and its accessories, take the required steps at your expense and under your responsibility. For more details, contact the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) or the U.S. Department of Commerce.

# Main Specifications

## FOMA N2502 HIGH-SPEED

### ■ Corresponding operating system

Windows 2000 Japanese version with Service Pack 4 or later  
Windows XP Japanese version with Service Pack 2 or later  
Windows Vista Japanese version  
Windows CE .NET 4.1 Japanese version  
Windows Mobile 5.0 Japanese version

### ■ Communication speed

Packet communication

Up to 7.2 Mbps downlink (best-effort)\*  
Up to 384 kbps uplink (best-effort)\*

\*: 7.2 Mbps max. or 384 kbps max. does not represent the actual communication speed, but the maximum value on the technical standards.

\*: The actual communication speed varies depending on the communication environment or network congestion.

\*: Up to 7.2 Mbps communication may be available after the network is supported.

\*: The communication speed turns to 384 kbps max. for both downlink and uplink out of FOMA HIGH-SPEED service area.

64K data communication

Up to 64 kbps downlink/uplink

Videophone call

64 kbps downlink/uplink

### ■ Operating environment

On operation

Temperature: 5°C to 35°C

Humidity: 45% to 85%

### ■ Power source

Supply voltage

3.3V/5.0V (supplied from PC/PDA card slot)

Consumption current

Maximum current during communication: Approx. 680mA (3.3V) / Approx. 460mA (5.0V)

Average current during communication: Approx. 490mA (3.3V) / Approx. 330mA (5.0V)

Standby (normal mode setting): Approx. 16mA (3.3V) / Approx. 14mA (5.0V)

Depending on the usage, consumption current fluctuates.

### ■ Dimensions

Width 42.8 mm × Thick 5 mm (8.7 mm at thickest point) × Height 65 mm (approximate size)

### ■ Weight

Approx. 24 g

### ■ Technical criteria design identification number

AD07-0554001

### ■ Connection model

PC card slot side: conforming to PC Card Standard 95 (3.3V/5.0V)

### ■ Connector current

0.5A/1 line

### ■ Operating environment

On operation

Temperature: 5°C to 35°C

Humidity: 45% to 85%

### ■ Dimensions

Width 54 mm × Thick 5 mm × Height 85.6 mm (approximate size)

### ■ Weight

Approx. 24 g

# Index

- A**
- ActiveSync ..... 25
  - After sales service ..... 41
  - Antenna lamp ..... 15
- C**
- Communication setting file (driver) .. 26
    - Install ..... 26, 31
    - Operating environment ..... 25, 26
    - Uninstall ..... 31, 33
  - Component Names and Functions .. 14
  - Connecting to a PC ..... 19
  - Connecting to a PDA ..... 21
- D**
- Driver ..... 26
- E**
- Error message ..... 38
  - Export Administration Regulations .. 42
- F**
- FOMA Card (UIM) ..... 16
    - Attach/Remove ..... 16
    - Security code ..... 16
- G**
- Glossary ..... 39
- H**
- Handling with Care ..... 9
- I**
- Install
    - Communication setting file (driver) for PC ..... 26
    - Communication setting file (driver) for PDA ..... 31
  - Intellectual property right ..... 10
- L**
- Lamp ..... 15
- M**
- Malfunction checklist ..... 37
  - Mode lamp ..... 15
  - mopera U ..... 5
- O**
- Operating environment
    - PC ..... 25
    - PDA ..... 26
  - Options ..... 11
- P**
- Packet communication ..... 17
  - PC card adapter ..... 11
  - PIN1 code ..... 16
  - PIN2 code ..... 16
  - Precautions ..... 6
  - PUK code ..... 17
- S**
- Specifications ..... 43
- U**
- Uninstall
    - Communication setting file (driver) for PC ..... 31
    - Communication setting file (driver) for PDA ..... 33
  - Usage on PDA
    - Install ..... 31
    - Operating environment ..... 26
- V**
- Videophone ..... 19
- W**
- Warranty ..... 41
  - Windows Mobile Device Center .. 25
- Numerals, etc.**
- 64K data communication ..... 18

[Memo]



[Memo]

[Memo]

「ドコモeサイト」では、住所変更、料金プラン変更などの各種手続き、資料請求を承っております。

**パソコンから** My DoCoMo (<http://www.mydocomo.com/>) ⇒ 各種手続き (ドコモeサイト)

※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID /パスワード」が必要となります。

※「DoCoMo ID /パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。

※システムメンテナンスなどにより、ご利用にならない場合があります。

## マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ずFOMA端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください

### ■ 使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末を接続しているパソコンの電源を切ってください。

・ 航空機内      ・ 病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

### ■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ 安全な場所に停車してから使用してください。

### ■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

You can make various settings such as changing the address or payment plan, or you can request the information via "DoCoMo e-site".

**From PC** My DoCoMo (<http://www.mydocomo.com/>) ⇒ 各種手続き (ドコモeサイト) (Application procedure (DoCoMo e-site))

\* You will need your "DoCoMo ID/Password" to access e-site from PC.

\* If you do not have or you have forgotten your "DoCoMo ID/Password", contact the DoCoMo Information Center described on the back cover of this manual.

\* DoCoMo e-site may not be available depending upon the content of your subscription.

\* You may not be able to access e-site services due to system maintenance, etc.

## Using your FOMA Terminal Politely

When using your FOMA terminal, do not forget to consider the feelings of people around you.

Turn off PC installing the FOMA terminal when you are:

### ■ In a place where it is prohibited to use a mobile phone

It is prohibited to use a mobile phone in some places. Turn off PC installing the FOMA terminal in:

・ An airplane      ・ A hospital

\* There is not only people in a ward who uses medical electrical equipment. Turn off your FOMA terminal even in a lobby or waiting room.

### ■ In-driving

The penalty shall be imposed on use of a handset held in your hand while driving.

\* Stop the car in a safe place before using it.

### ■ In a crowded train, etc. where you may be close to people with an implantable cardiac pacemaker or implantable cardioverter-defibrillator put

There is a possibility that the FOMA terminal may exert a harmful influence on the implantable cardiac pacemakers or implantable cardioverter-defibrillators.

総合お問い合わせ先  
(DoCoMo インフォメーションセンター)

## ■ドコモの携帯電話からの場合

☎(局番なしの) 151 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

## ■一般電話などからの場合

☎0120-800-000

※携帯電話、PHS からご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

●なお、詳しくはFOMA 端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

## 故障お問い合わせ先

## ■ドコモの携帯電話からの場合

☎(局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

## ■一般電話などからの場合

☎0120-800-000

※携帯電話、PHS からご利用になれます。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道

株式会社NTTドコモ東北

株式会社NTTドコモ

株式会社NTTドコモ東海

株式会社NTTドコモ北陸

株式会社NTTドコモ関西

株式会社NTTドコモ中国

株式会社NTTドコモ四国

株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

この取扱説明書は大豆油  
インキで印刷しています。

再生紙を使用しています

'08.3(1版)  
A50-013250-001